

令 7 一 依 ・ 単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事

塩 竈 市

図面リスト

図面番号	図面名（建築・電気設備）		図面名（建築・電気設備）
特-01	特記仕様書（1）	A-13	外構図
特-02	特記仕様書（2）		
特-03	特記仕様書（3）	図面番号	図面名（電気設備）
特-04	特記仕様書（5）	電気特-01	電気設備改修工事特記仕様書
特-05	特記仕様書（6）	E-01	電灯設備平面図
特-06	特記仕様書（7）	参考図 1	[竣工図]盤幹線図
特-07	特記仕様書（9）	参考図 2	[竣工図]照明器具姿図
A-01	案内図・配置図		
A-02	仮設図（A・E・M）	図面番号	図面名（機械設備）
A-03	工事範囲図（A・E・M）	機械特-01	機械設備改修工事特記仕様書
A-04	仕上げ表	M-01	厨房ダクト図
A-05	立面図	M-02	換気設備平面図
A-06	1階職員便所図・コンセント図	M-03	[既存]1F配管図・【改修】給排水衛生設備図
A-07	厨房諸室図・コンセント図		
A-08	2階テラス図（1）	番外	概略工程表
A-09	2階テラス図（2）		
A-10	建具図（1）		
A-11	建具図（2）		
A-12	建具図（3）		

[illegible]

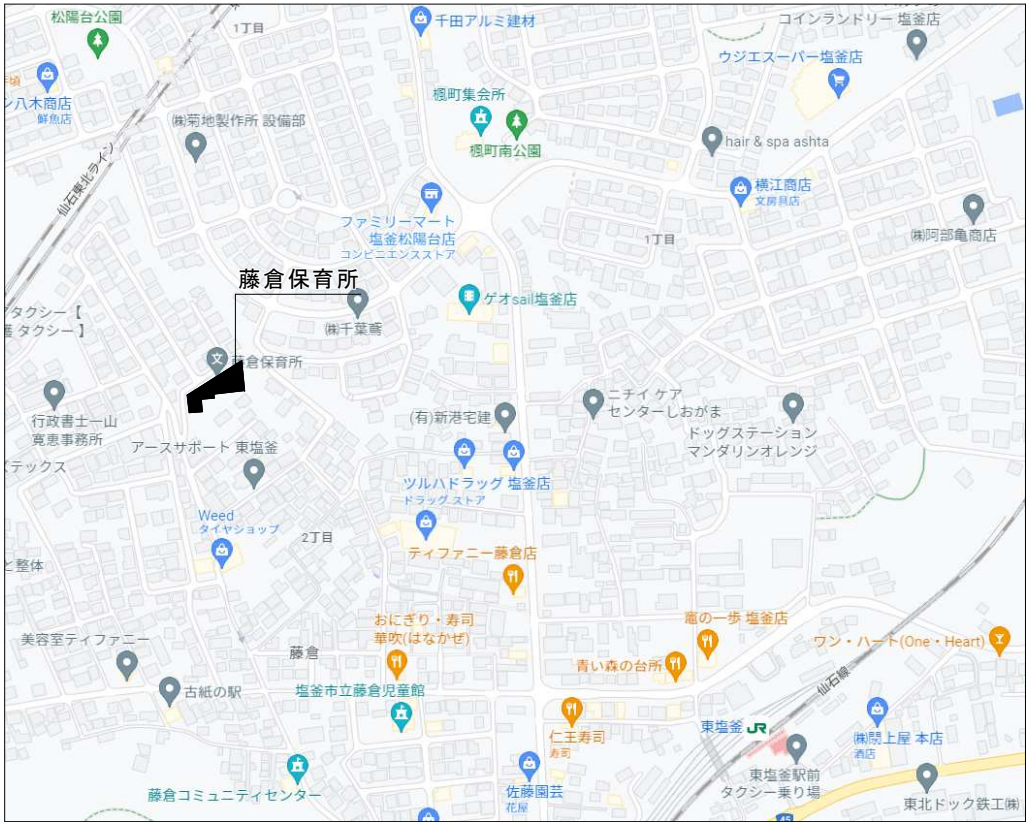
3 防水改修工事	5. 改質アスファルトシート防水	屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類	新設防水層の種類				仕上塗料		断熱材	備考
		改修工法	新設種別	施工箇所	種類	使用量				
		・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・				
		・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・			脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	※3.3.2(9)種類 ・厚さ ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無			
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定（個）										
屋根防水 防水層の種類										
改修工法		種別		施工箇所						
・P1E ・P2E		・E-1 ・E-2								
保護層 ・設ける（※図示による ） ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴室等常時水に接する部位 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ※図示による										
屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類										
新設防水層の種類										
改修工法		新設種別		施工箇所		仕上塗料		断熱材	備考	
						種類 使用量				
・M4AS		・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2				・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		
・M3AS		・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1				・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無
・POAS		・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3				・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無
・M3ASI ・M4ASI ・POASI		・ASI-T1 ・ASI-J1				・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・	3.4.2(3)の種類 ・厚さ ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無
改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定（個）										
絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない										
新設防水層の種類										
改修工法		新設種別		施工箇所		仕上塗料		断熱材	備考	
						種類 使用量				
・S-F1						・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無
・POS ・S4S		・S-F2 ・S-M1				・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		
・S-M2 ・S-F1				・プレキャスト コンクリート下地 ・		・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無
・S3S		・S-F2		・プレキャスト コンクリート下地 ・		・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		
・S-M1 ・M4S						・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有 ・無
・S-M2 ・S-F1				・プレキャスト コンクリート下地 ・		・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(i)(b)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無
・S-F2 ・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1				・プレキャスト コンクリート下地 ・		・製造所の仕様 ・		※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(i)(a)種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様 S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない										
屋内防水 防水層の種類										
種別		種別		施工箇所		保護層				
・P1S		・S-C1				平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下				
平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 目地の種類 ※押し目地 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ mm以上 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様（ ）個 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う（※図示による ） プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合） ・行う（※図示による ） ・行わない										
新設防水層の種類										
改修工法		新設種別		施工箇所		仕上塗料		備考		
						種類 使用量				
・POX		※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・				・主材料の製造所の仕様 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	
・L4X		・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・				・主材料の製造所の仕様 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無	
ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様（個）										
6. 合成高分子系ルーフィングシート防水										
7. 塗膜防水										
8. シーリング										
9. とい										
10. アルミニウム製笠木										
新設防水層の種類										
改修工法		新設種別		施工箇所		仕上塗料		備考		
						種類 使用量				
・P0X		※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・				・主材料の製造所の仕様 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	
・L4X		・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・				・主材料の製造所の仕様 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無	
シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドプレーカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類（記号） 仕上げを行わない施工箇所 ・図示による シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 といその他の材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレン ・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類 ） とい受金物 材種 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） 形状 ※市販品（とい径100以下） ※25×4.5以上（とい径100を超えるもの） 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による 足金物 材種 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） 形状 ※市販品 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示による 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による ルーフトレンの種類及び呼び 種別 呼び 施工箇所 ・ろく屋根用たて形Ⅰ型 ※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150 ・ろく屋根用横形Ⅰ型 ※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150 ・バルコニー中継用 ※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100 ・バルコニー用 ※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100 たてどい受金物の取付け ※図示による ルーフトレンの取付け ※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する 種類 ・オープン形式（ ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形） ・板材折曲げ形（ ・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm） 表面処理 種別（ ）種 色合等 ・標準色（ ） ・特注色（ ） 既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示による ・ ） ・行わない 下地補修の工法 ※図示による 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示による										
11. 防水保証										
1. 防水保証										
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁										
1. ひび割れ部改修工法										
・樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入力(mL/m) 延べ長さ(m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・130 図示による ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・50～100 ・40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・100～200 ・70 0.5以上～1.0未満 ・150～250 ・130 注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 ※図示による ・Uカットシール材充填工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 延べ長さ(m) ・可とう性エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 図示による 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 ・シーリング材 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満 ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 延べ長さ(m) ・パテ状エポキシ樹脂 0.2未満 図示による ・可とう性エポキシ樹脂 ・充填工法 材料 平均深さ(mm) 平均広さ(m) 延べ箇所数 ・ポリマーセメントモルタル 5～10未満 図示による 10～15未満 15～20未満 20～25未満 25～30未満 30～35未満 35～40未満 ・エポキシ樹脂モルタル 30～35未満 35～40未満										
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁										
1. ひび割れ部改修工法										
・樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入力(mL/m) 延べ長さ(m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・130 図示による ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・50～100 ・40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ・100～200 ・70 0.5以上～1.0未満 ・150～250 ・130 注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 ※図示による ・Uカットシール材充填工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 延べ長さ(m) ・可とう性エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 図示による 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満 1.0超過 ・シーリング材 1.0超過～1.5未満 1.5以上～2.0未満 以上～未満										
設計年月日 調査者氏名 設計者氏名 工事名称 全葉 図面No										
図面名称 特記仕様書(2) 特-02										

[illegible]

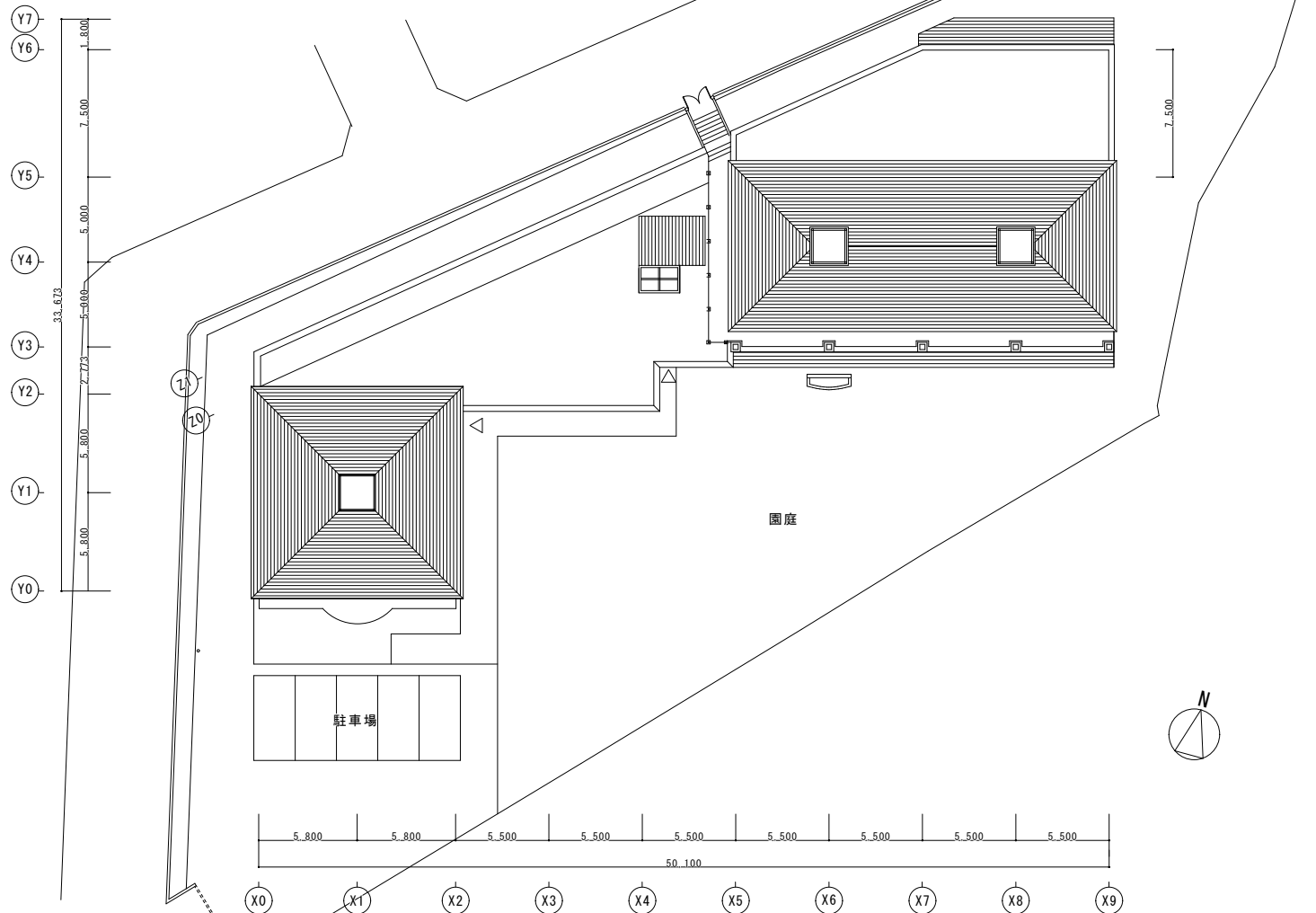
5 建具 改修工事	・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性・日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ・ 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合） ・A類 ・B類 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ・	6 内装 改修工事	1. 改修範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による	7 造作用単板 積層材	・ JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 ・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 ・ JAS 3079 に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) ・「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 板面の品質 防虫処理 ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ・ JAS 0360 に基づく構造用パネル 施工箇所 寸法 (mm) ・ MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 （改修標準仕様書表 6.5.3～5に示す程度の市販品 表 8.20.1の1種程度） ・（形状： 寸法： 材質： ） 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4	8. 合板等	9. 接合具等	10. 接着剤	11. 防腐・防蟻 処理	12. 内部間仕切軸 組及び床組み	13. 窓、出入口 その他	14. 軽量鉄骨天井 下地	15. 軽量鉄骨壁 下地	16. ビニル床 シート	17. ビニル床 タイル	18. 特殊機能床材	・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ・ ※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品 ・ ・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理 適用部位（ ） ・合板等の加圧注入処理の適用 適用部位（ ） ・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） <6.5.6> ※杉又は松 ・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※杉又は松 ・ ・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） <6.5.7> ※吊元桟、水掛りの下桟及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ・ 野縁等の種類 <6.6.2～4> 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔 ・図示による ・ 周辺部の端からの間隔 ・図示による ・ 野縁の間隔 ・図示による ・ 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400N程度 ・（ ）N ※行わない ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 （補強方法 ※図示による ） ・天井のふところが3.0mを超える場合 （補強方法 ※図示による ） ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 （補強箇所 ※図示による ） （補強方法 ※図示による ） スタッド、ランナーの種類 <6.7.3、4>表 6.7.1> ※改修標準仕様書表 6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による ・ スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による ・ 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書 6.7.4(5)による ・ 種類の記号 色柄 厚さ (mm) 備考 ※FS（複層ビニル床シート） ※無地 ※2.0 ・ ・マ ・ ・ ・柄物 接合部の処理 ※熱溶接工法 ・ 種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 ※KT（コンパジションビニル床タイル） ・無地 ※300×300 ※2.0 ・ ・柄物 ・450×450 ・3.0 ・TT（単層ビニル床タイル） ・無地 ・300×300 ・2.0 ・ ・柄物 ・450×450 ・ ・FT（複層ビニル床タイル） ・無地 ・300×300 ・2.0 ・ ・柄物 ・450×450 ・2.5 ・ ・ ・3.0 ・FOA（置敷きビニル床タイル） ・無地 ・500×500 ・4.0 ・ ・柄物 ・ ・ ・FOB（薄型置敷きビニル床タイル） ・無地 ・ ・ ・ ・柄物 ・ ・ ・帯電防止床シート <6.8.2> 種類（ ） 性能（ ） 厚さ (mm)（ ） ・帯電防止床タイル 種類（ ） 性能（ ） 寸法 (mm)（ ）×（ ） 厚さ (mm)（ ） ・視覚障害者用床タイル ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類（ ） 形状（ ） ・耐動荷重性床シート 種類（ ） 厚さ (mm)（ ）
	20. ガラス ブロック積み		ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ・図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ ・ ・図示による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ ・ ・図示による 樹脂製 ・グレイジングガスケット ※建具の製造所の仕様による ・ ・ ・図示による <5.14.5> 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・160×160 ・95 ・ ・ ・ ・ ・200×200 ・95 ・ ・ ・ ・ 壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー） シーリングの種類（・SR-1 ・PS-1） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による ・		2. 既存床の撤去 及び下地補修 3. 既存壁の撤去 及び下地補修 4. 施工一般 5. 製材 6. 造作用集成材												既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルのみ（・図示による ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ・ 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書 4.3.10によるモルタル塗り （全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による） ・ 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書 6.5.2(1) (ウ) (b)による ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ・ JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 ・ 見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・B種 ・ ・ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ・ JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所

[illegible]

8-8 土工事及び地業工事	1. 埋戻し及び盛土	材料及び工法 ・材料() 工法() ※改修標準仕様書表8. 28. 1による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)	9 環境配慮改修工事	1. 石綿含有建材の除去工事	施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。 調査範囲() 図示() 貸与資料() ・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th></tr><tr><td>・測定 1</td><td rowspan="4">処理作業前</td><td rowspan="4">処理作業室内</td><td>処理作業室内</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 2</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 3</td><td>処理作業室内</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 4</td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 5</td><td rowspan="2">処理作業中</td><td rowspan="2">集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td><td>出口吹出し風速 1m/s以下の位置</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 6</td><td>処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 7</td><td rowspan="2">処理作業後 (シート養生中)</td><td rowspan="2">処理作業室内</td><td></td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 8</td><td>処理作業後</td><td>処理作業室内</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・測定 9</td><td></td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・計 点</td></tr></table> 測定方法 ・自動測定器による測定 <table><tr><th>測定名称</th><th>測定方法</th></tr><tr><td>・測定 4</td><td rowspan="2">粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td></tr><tr><td>・測定 5</td></tr><tr><td colspan="2">・JIS K 3850-1に基づいた測定</td></tr><tr><th>測定名称</th><th>メンブレンフィルタ 直径(mm)</th><th>試料の吸引流量 (L/min)</th><th>試料の吸引時間 (min)</th></tr><tr><td>・測定 4</td><td rowspan="2">25</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">30</td></tr><tr><td>・測定 5</td></tr><tr><td>・測定</td><td>47</td><td>10</td><td>120</td></tr><tr><td>・測定</td><td>47</td><td>10</td><td>240</td></tr><tr><td>・測定</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・測定</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・測定</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・測定</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 ※改修標準仕様書9. 1. 3 (2) (7)による ・除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 ・破碎して除去 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去 除去対象範囲 ・図示による 隔離養生(負圧不要)方法 ・図示による 足場 ・図示による 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	・測定 1	処理作業前	処理作業室内	処理作業室内	・計 点	・測定 2	調査対象室外部の付近	・計 点	・測定 3	処理作業室内	・計 点	・測定 4	セキュリティゾーン入口	・計 点	・測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置	・計 点	・測定 6	処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点	・測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内		・計 点	・測定 8	処理作業後	処理作業室内	・計 点	・測定 9		調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法	・測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定 5	・JIS K 3850-1に基づいた測定		測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・測定 4	25	5	30	・測定 5	・測定	47	10	120	・測定	47	10	240	・測定				・測定				・測定				・測定				・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 養生方法 ・除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有建材除去後の仕上り工事 ・図示による 改修特記仕様書3章による。 断熱材 断熱材の種類 ・断熱材の厚さ(mm) ・施工箇所 ・図示による ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ <table><tr><th>外装材</th><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・行う 行わない 下地面の清掃 ・行う 行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による ・不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・有(mm) 無 外装材の外壁への取付け ・図示による 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法	外装材	種類	防火性能	備考	・				5. 屋上緑化改修工事 6. 透水性アスファルト舗装改修工事	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ 適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示による 路床 路床の材料 <table><tr><th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・</td><td>・図示による ・</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>※砂 ・</td><td>・図示による ・</td></tr></table> (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ※行わない ・路床安定処理 ・適用する 適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 kg/m ³ (目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0. 5～1. 0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1. 5×10 ⁻¹ cm/sec以上 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ※行わない 路床締固め度の試験 ※行う 行わない 現場CBR試験 ・行う 行わない 路盤 路盤の厚さ ・図示による 路盤材料(改修標準仕様書表9. 7. 3(による種別) ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシャーラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ※図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ※行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・	・凍上抑制層			・フィルター層	※砂 ・	・図示による ・
	適用	測定名称		測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																						
	・測定 1	処理作業前		処理作業室内	処理作業室内	・計 点																																																																																																						
	・測定 2				調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																						
・測定 3	処理作業室内		・計 点																																																																																																									
・測定 4	セキュリティゾーン入口		・計 点																																																																																																									
・測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置	・計 点																																																																																																								
・測定 6			処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点																																																																																																								
・測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内		・計 点																																																																																																								
・測定 8			処理作業後	処理作業室内	・計 点																																																																																																							
・測定 9		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																									
測定名称	測定方法																																																																																																											
・測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																											
・測定 5																																																																																																												
・JIS K 3850-1に基づいた測定																																																																																																												
測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																									
・測定 4	25	5	30																																																																																																									
・測定 5																																																																																																												
・測定	47	10	120																																																																																																									
・測定	47	10	240																																																																																																									
・測定																																																																																																												
・測定																																																																																																												
・測定																																																																																																												
・測定																																																																																																												
外装材	種類	防火性能	備考																																																																																																									
・																																																																																																												
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																										
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・																																																																																																										
・凍上抑制層																																																																																																												
・フィルター層	※砂 ・	・図示による ・																																																																																																										
3. 砂利地業	3. 砂利地業	材料 ※再生クラッシャーラン 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ <table><tr><th>厚 さ</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>※60mm</td><td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 捨コンクリート地業 捨コンクリートの厚さ <table><tr><th>厚 さ</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>※50mm</td><td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm ² スラブ ※15cm又は18cm	厚 さ	適用箇所	※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下	・	・	厚 さ	適用箇所	※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下	・	・	4. 断熱・防露改修工事	4. 断熱・防露改修工事	・断熱7mm 防水改修工事 3. 外断熱改修工事 4. 断熱・防露改修工事	5. 屋上緑化改修工事 6. 透水性アスファルト舗装改修工事	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ 適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示による 路床 路床の材料 <table><tr><th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・</td><td>・図示による ・</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>※砂 ・</td><td>・図示による ・</td></tr></table> (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ※行わない ・路床安定処理 ・適用する 適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 kg/m ³ (目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0. 5～1. 0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1. 5×10 ⁻¹ cm/sec以上 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ※行わない 路床締固め度の試験 ※行う 行わない 現場CBR試験 ・行う 行わない 路盤 路盤の厚さ ・図示による 路盤材料(改修標準仕様書表9. 7. 3(による種別) ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシャーラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ※図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ※行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・	・凍上抑制層			・フィルター層	※砂 ・	・図示による ・																																																																													
	厚 さ	適用箇所																																																																																																										
	※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下																																																																																																										
・	・																																																																																																											
厚 さ	適用箇所																																																																																																											
※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下																																																																																																											
・	・																																																																																																											
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																										
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・																																																																																																										
・凍上抑制層																																																																																																												
・フィルター層	※砂 ・	・図示による ・																																																																																																										
4. 捨コンクリート地業	4. 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ <table><tr><th>厚 さ</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>※50mm</td><td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm ² スラブ ※15cm又は18cm	厚 さ	適用箇所	※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下	・	・	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工 事 名 称 令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	全 業	図面 No 特-07																																																																																														
	厚 さ	適用箇所																																																																																																										
	※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下																																																																																																										
・	・																																																																																																											
		図 面 名 称 特 記 仕 様 書 (9)																																																																																																										

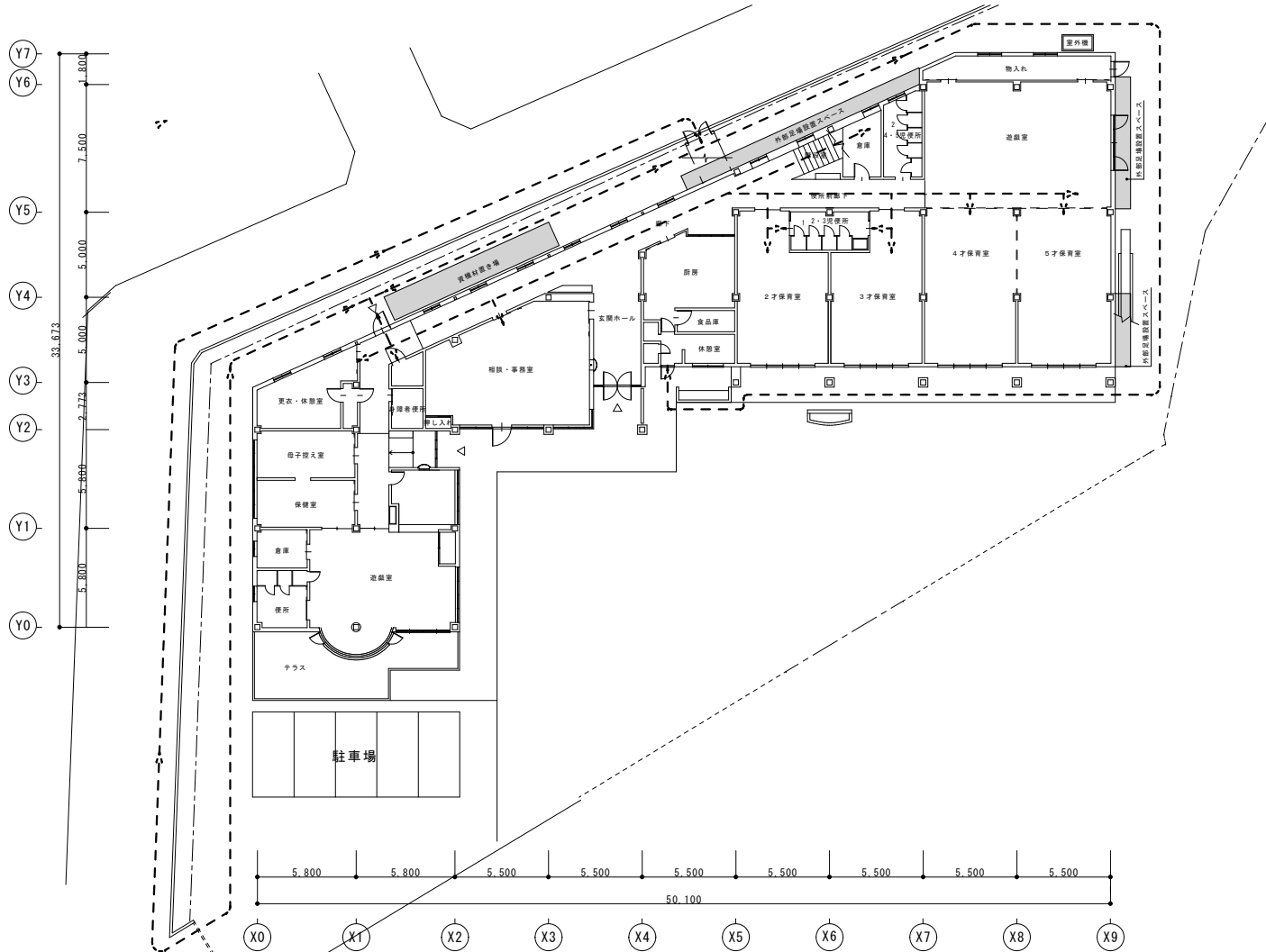


案内図

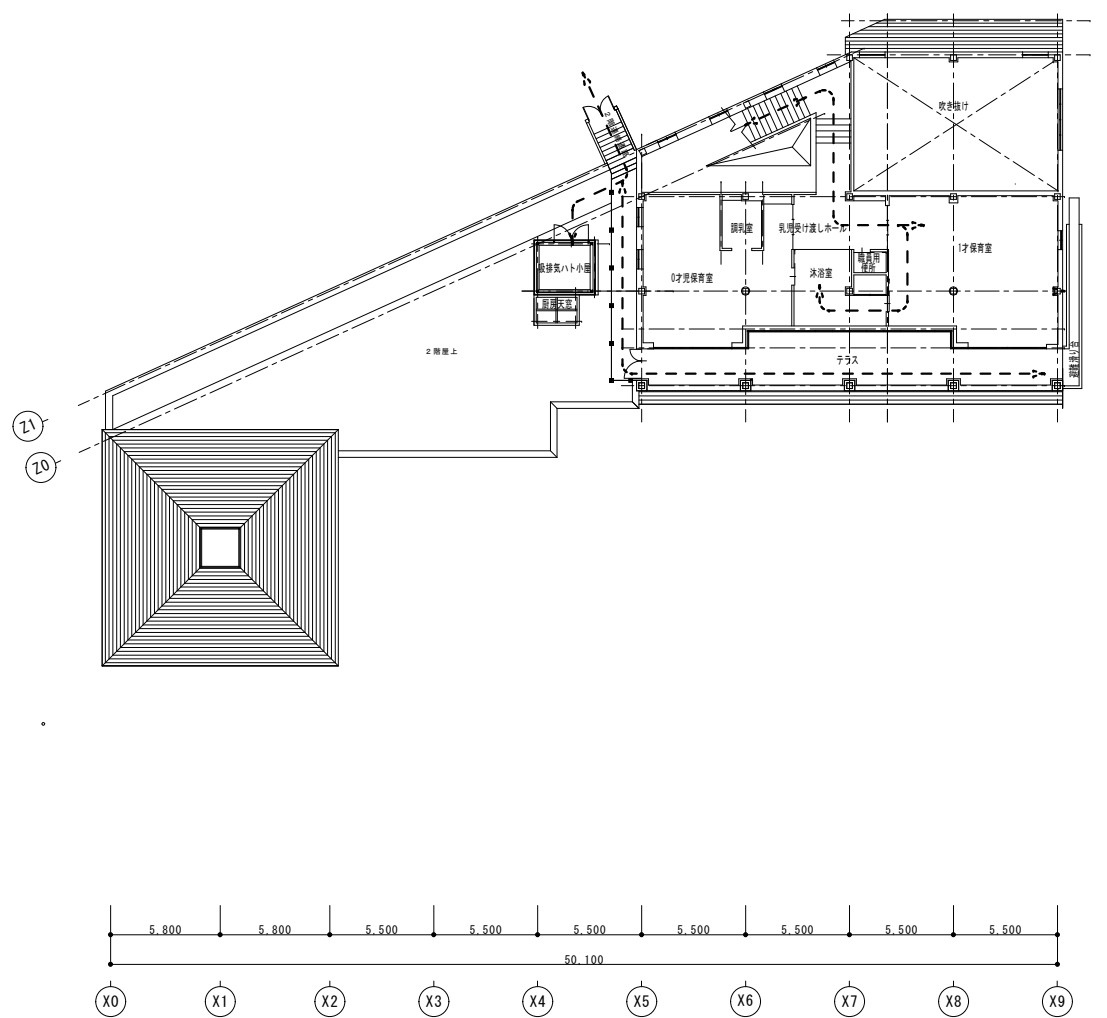
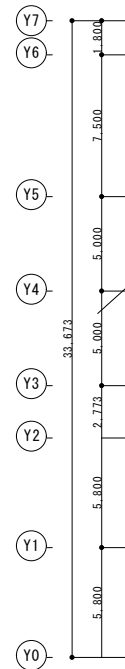


配置図 (S=1/200)

宮城県塩竈市本町1番1号 電話 022-364-1126 FAX 022-362-7249 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計年月日	調査	設計	工事名称 令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	Scale A1-図示	全葉	図面 No. A-01
				図面名称 案内図・配置図			



1階平面図 (S=1/200)



2階平面図 (S=1/200)

【凡例・仕様等】

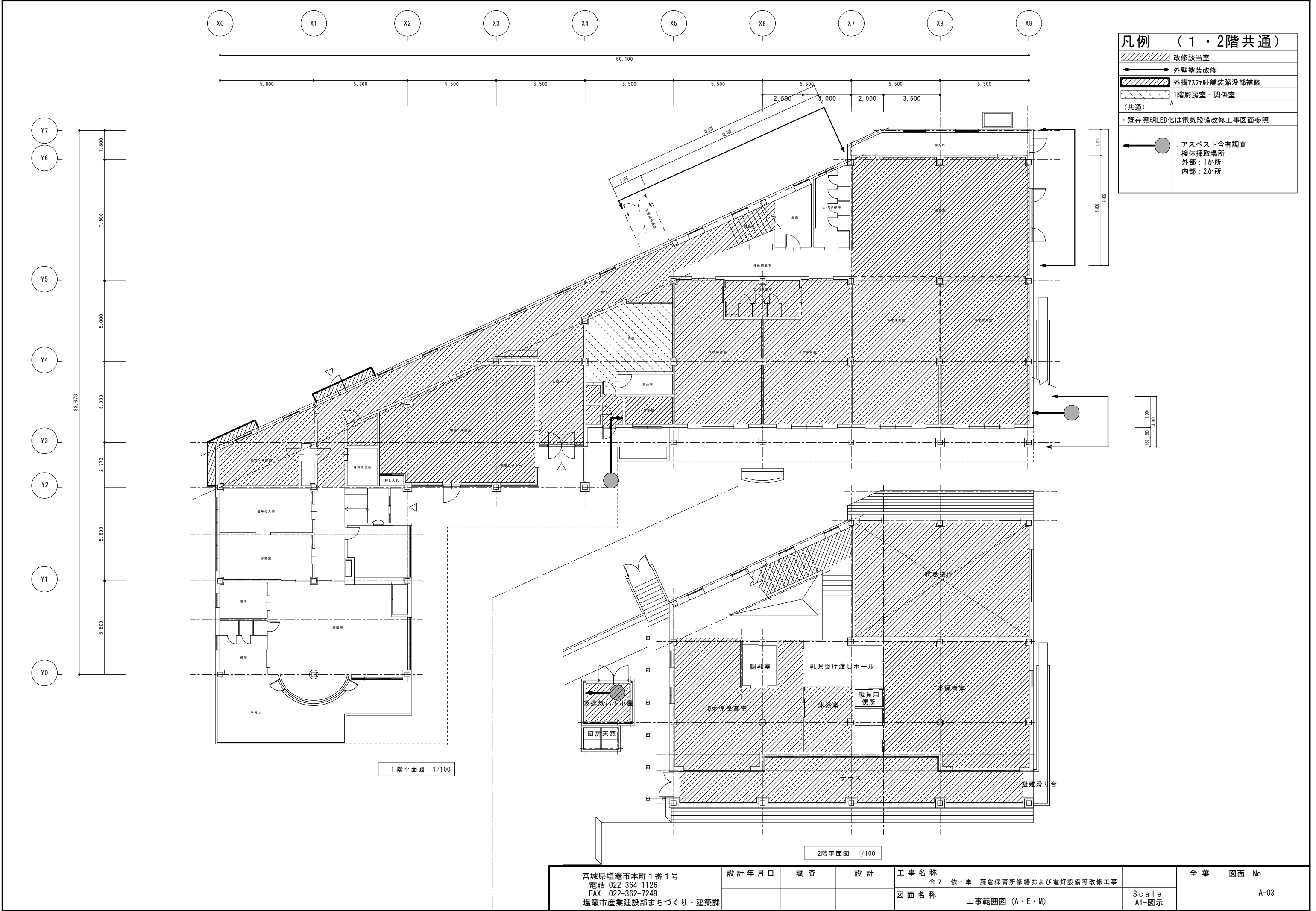
記号	名称	摘要
	改修範囲：個別図面参照	工事区分：建築・電気設備・機械設備
	外部 資機材置場	床養生、バリケードフェンス囲い
	工事用作業通路	床養生※外部除くが、破損・汚濁を起こした場合は現状復旧とする。

工事概要
・図面番号「特-01」特記仕様書（1）6．工事の概要を参照

【作業条件等】

- ①作業不可時間：13:00～15:00（児童午睡時間）
- ②音出し作業について：イ）保育所と調整の上、作業を行う。
ロ）近隣へ説明を行う。
- ③2階厨房用設備小屋(厨房天井裏)作業：作業日程を夏季期間除くとし、着工当初に日程調整を行うこと。
- ④資機材ストックヤード：外部（図示）
- ⑤作業通路：図示のとおり。園児と接触なき様、保育所と調整の上、作業を行う。
- ⑥作業開始7日前までに短期工程表を保育所へ提出し、承諾後に作業を行うこと。

宮城県塩竈市本町1番1号 電話 022-364-1126 FAX 022-362-7249 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計年月日	調査	設計	工事名称 令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	Scale A1-図示	全葉	図面 No. A-02
				図面名称 仮設図 (A・E・M)			



宮城県塩竈市本町1番1号 電話 022-364-1126 FAX 022-362-7249 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計年月日	調査	設計	工事名称 令7一依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	Scale A1-図示	全葉	図面 No. A-03
				図面名称 工事範囲図 (A・E・M)			

【外部仕上げ表】

	既存	改修
外壁	押出し成形セメント板 t=15.0 アクリル系塗装吹付	下地処理 シリコン2回塗
2Fテラス	手摺：スチール製柵 塗装、全面ガラス張り、手摺部化粧木付き 出隅角養生：コーナークッション接着貼り	手摺：スチール製柵 再塗装、全面ガラス張り 一時撤去再設置、手摺部化粧木 再塗装 出隅角養生：〔既存〕コーナークッション 撤去、【新設置】コーナークッション接着貼り
外構 アスファルト舗装	北側アスファルト舗装 現況一部陥没	北側アスファルト舗装 〔撤去〕一部陥没箇所、【新設置】RC40充填

【内部仕上げ表】

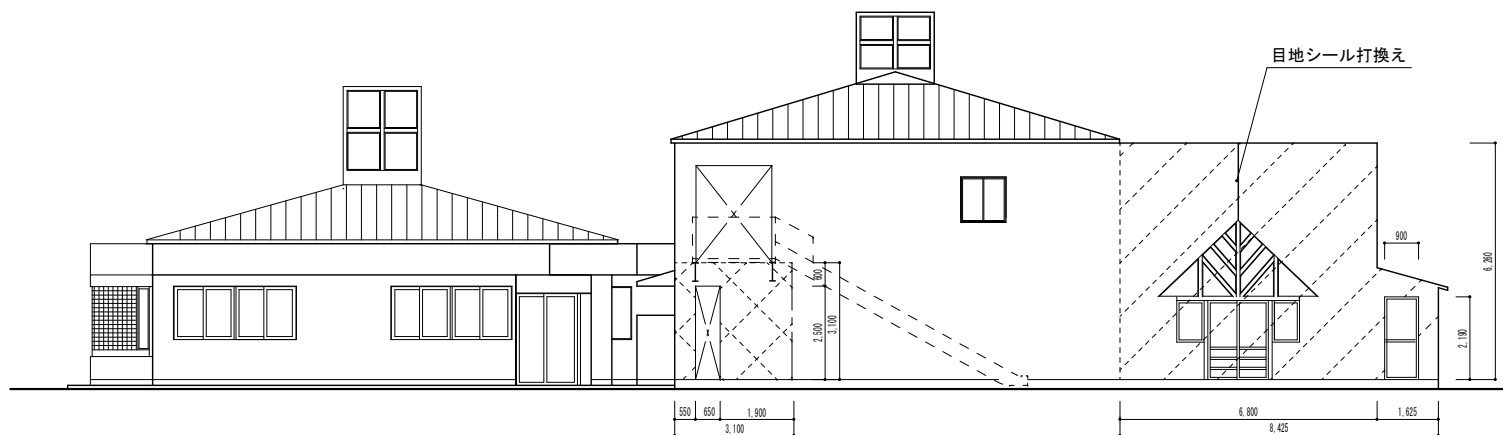
		床			巾木	壁		天井			廻り縁	備考
		下地	高さ	仕上	仕上	下地	仕上	下地	高さ	仕上	仕上	
1F職員便所	既存	1階職員便所 改修図 参照	同左	同左	同左	同左	同左	同左	CH=2500	1階職員便所 改修図 参照	同左	同左
	改修	1階職員便所 改修図 参照	同左	同左	同左	同左	同左	同左	CH=2500	1階職員便所 改修図 参照	同左	同左
厨房 便所	既存	1階厨房諸室 改修図 参照	同左	同左	同左	同左	同左	同左	CH=2500	1階厨房諸室 改修図 参照	同左	同左
	改修	1階厨房諸室 改修図 参照	同左	同左	同左	同左	同左	同左	CH=2500	1階厨房諸室 改修図 参照	同左	同左
各室排煙設備 （室名） ・玄関 1 ・2才～5才 各保育室 ・相談・事務室 ・廊下 ・階段 1・2階	既存											排煙ホース 器具図（1） （2） 参照
	改修											排煙ホース 器具図（1） （2） 参照

【電気設備・機械設備 工事概要表】

	改修
電気設備改修	1階 照明器具LED化、建築改修（1階職員便所・1階厨房改修）に伴う電気設備改修 （LED課室名） 更衣・休憩室、一部廊下、相談・事務室、厨房（厨房・食品庫・休憩室）、2才～5才 各室、外灯、誘導灯
機械設備改修	給排水衛生設備：1階職員便所・1階厨房の衛生機器更新等 換気設備①：2階ハト小屋内厨房ダクトはく脱復旧等 換気設備②：既存天井換気扇更新、（室名）1階厨房休憩所、2階沐浴室、2階0才1才保育室

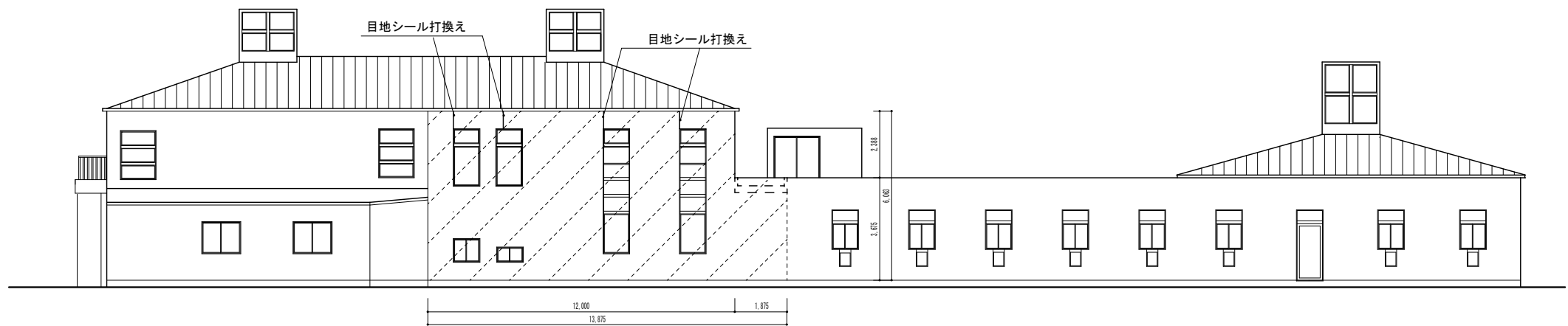


南立面図 1/100



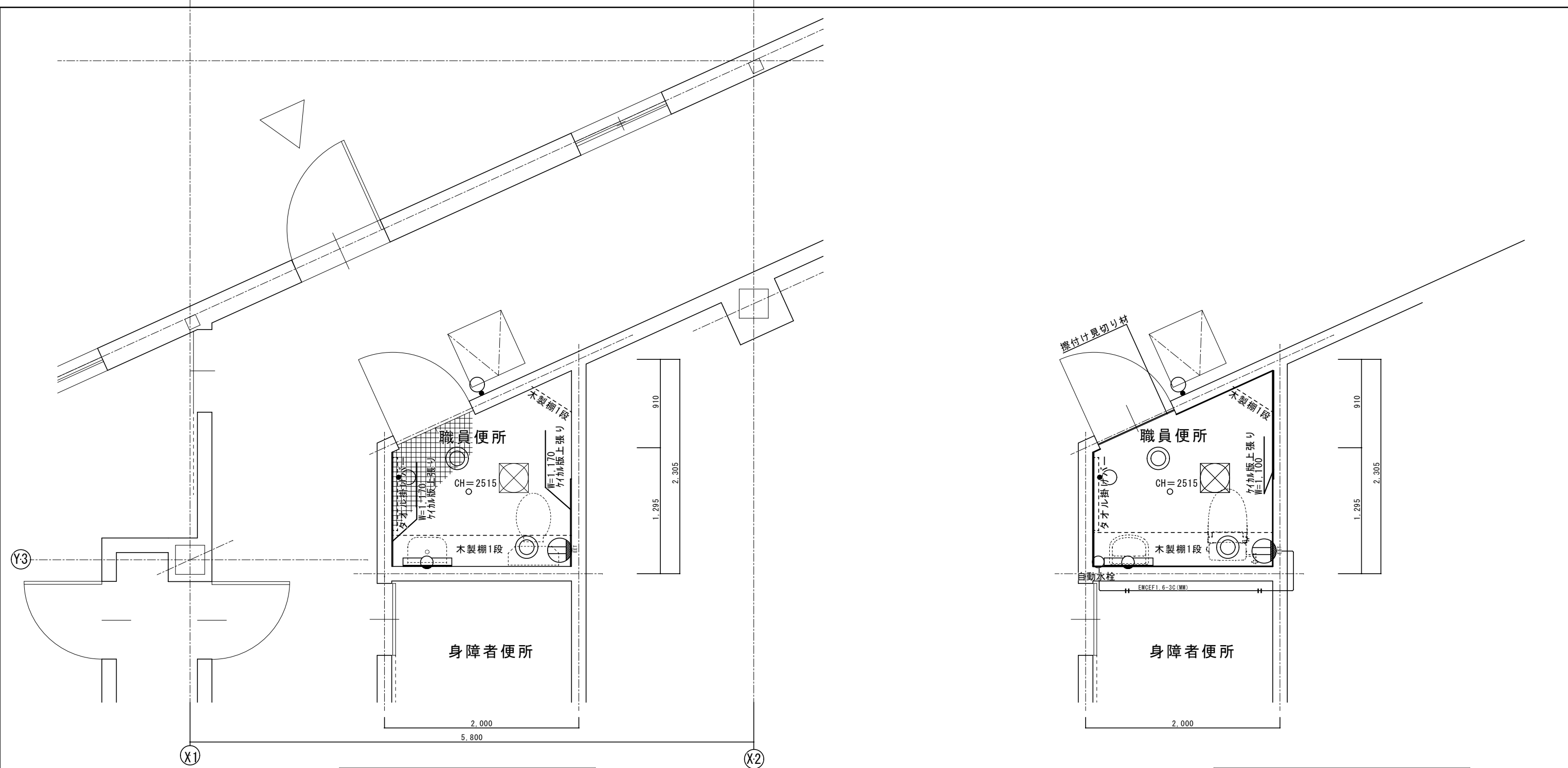
東立面図 1/100

凡例 (1・2階共通)	
	外壁塗装改修
	同上 下地パテ処理含む
※建具シール打ち換え含む	



北立面図 1/100

宮城県塩竈市本町1番1号 電話 022-364-1126 FAX 022-362-7249 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計年月日	調査	設計	工事名称 令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	Scale A1-図示	全葉	図面 No. A-05
				図面名称 立面図			

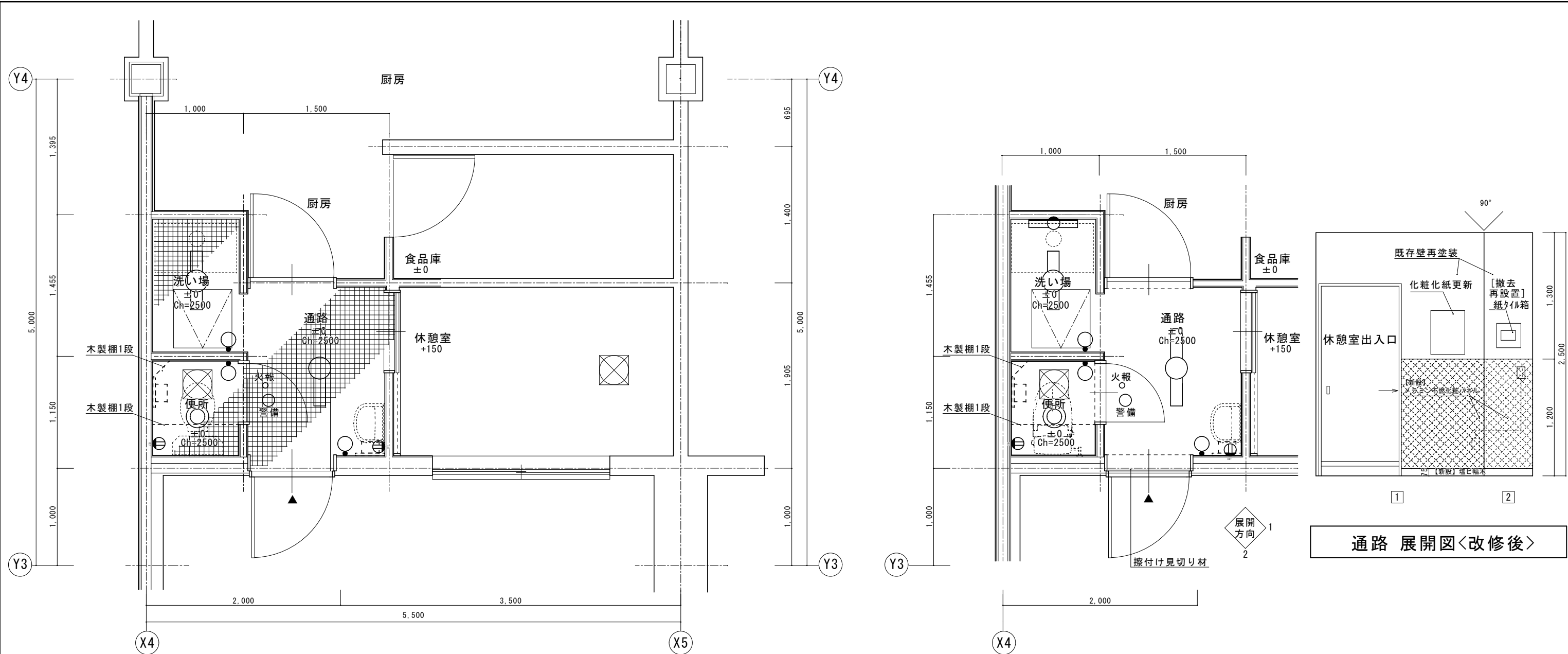


平面詳細図[改修前] S=1/20

平面詳細図[改修後] S=1/20

職員便所[改修前]		
部位	仕上	備考
床	モルタル下地 t=30 50□ 磁器質タイル貼り	既存棚・タオル掛け 撤去再使用 ①木製棚1段 D320 W1,900 t=20 下地根太付き ②木製棚1段、入隅部設置 D200 W300 t=15、棚板三角形 ③タオル掛け、木製台座板付き 台座板W780×h250 t=15、 樹脂製タオル掛けバー
巾木	塩ビ幅木H=75【撤去】	
壁	耐火壁PB下地 無石棉フレキシブル板t=5.0の上吹付タイル 一部ケイカル板上張り	
天井	LGS下地 t=5.0 無石棉フレキシブル板t=5.0 目透かしVP	
廻縁	塩ビ【撤去】	

職員便所 【改修後】※注記なきは新設			
部位	仕上	備考	電気設備改修
床	既存タイル洗浄、下地樹脂モルタル押え（t=タイル目地埋め） 塩ビシート貼りt=2.3	※既存棚ほか再使用は[改修前]参照 ・ドア下沓摺 SUS擦付け見切り材 床塩ビシート段差処理 t=2.3	1. コンセントプレート交換 2. 自動水栓電源供給
巾木	塩ビ幅木H=75		
壁	既存無石棉フレキシブル板吹付タイル下地、 ※一部下地ケイカル板上張り t=5.0（既存壁段差解消用） メラミン不燃化粧パネル H=2,500 ケイカル板t6.0同等品、 目地シール、出隅塩ビコーナー		
天井	EP		
廻縁	塩ビ※壁付き		



[凡例]
±0、150：1階FLとの高低差
【電灯コンセント改修 共通】スイッチ・コンセントのプレート更新
便所

平面詳細図[改修前] S=1/20

	部位	改 修 前	部位	改 修 後※①注記なきは新設、既存とは既存のまま	備考
	床	モルタル下地 t=30 50□ 磁器質タイル貼り	床	既存タイル洗浄、下地樹脂モルタル押え (t=タイル目地埋め) 塩ビシート貼りt=2.3	備考
	巾木	50□ 磁器質タイル貼り H=50【撤去】	巾木	塩ビ幅木H=75	既存棚・タオル掛け 撤去再使用 ①木製棚1段 D320 W1,900 t=20 下地根太付き ②木製棚1段、入隅部設置 D200 W300 t=15、棚板三角形
	壁	耐火壁PB下地、一部LGS下地 PB t=12貼り 無石綿フレキシブル板t=5.0の上吹付タイル	壁	既存無石綿フレキシブル板吹付タイル下地 メラミン不燃化粧パネル H=2,500 718 718t6.0同等品、目地シール、出隅塩ビコーナー	【撤去】【新設置】 ①紙タイル箱【撤去再設置】
	天井	LGS下地 t=5.0 無石綿フレキシブル板t=5.0 目透かしVP	天井	既存無石綿フレキシブル板吹付タイル下地 VP	
	廻縁	塩ビ【撤去】	廻縁	塩ビ※壁付き	

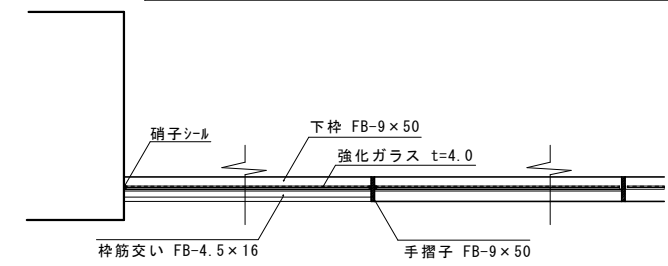
平面詳細図[改修後] S=1/20

	部位	改 修 前	部位	改 修 後※①注記なきは新設、既存とは既存のまま	備考	電気設備改修
	床	モルタル下地 t=30 50□ 磁器質タイル貼り	床	既存タイル洗浄、下地樹脂モルタル押え (t=タイル目地埋め) 塩ビシート貼りt=2.3	備考	電気設備改修
	巾木	50□ 磁器質タイル貼り H=50【撤去】	巾木	塩ビ幅木H=75	・ドア下音障【新設】 SUS擦付け見切り材 床塩ビシート段差処理 ・紙タイル箱【撤去再設置】	1. 自動水栓電源供給 2. コンセント位置移動
	壁	LGS下地 PB t=12貼り 吹付タイル	壁	既存石こうボード下地 VP 手洗い部：メラミン不燃化粧パネルt3.0、目地シール、出隅塩ビコーナー		
	手洗部	同上	手洗部	既存石こうボード下地【撤去】【新設】（給水配管用） メラミン不燃化粧パネル H=1200 718 718t6.0同等品、目地シール、 板上部既製コーナー材使用		
	天井	LGS下地 t=5.0 無石綿フレキシブル板t=5.0 目透かしVP	天井	既存無石綿フレキシブル板吹付タイル下地 VP		
	廻縁	塩ビ	廻縁	既存塩ビ		

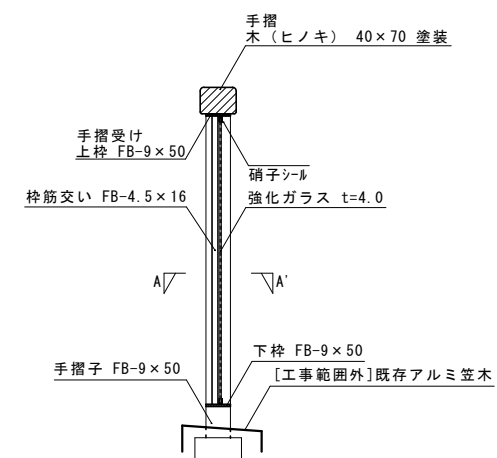
洗い場

	部位	改 修 前	部位	改 修 後※①注記なきは新設、既存とは既存のまま	備考
	床	モルタル下地 t=30 50□ 磁器質タイル貼り	床	既存タイル洗浄、下地樹脂モルタル押え (t=タイル目地埋め) 塩ビシート貼りt=2.3	備考
	巾木	塩ビ幅木H=75【撤去】	巾木	塩ビ幅木H=75	【撤去・再設置】 ・流し台 W900×D550 SUS
	壁	耐火壁PB下地、一部LGS下地 PB t=12貼り 吹付タイル	壁	既存石こうボード下地 VP	【撤去】【新設置】 ・床点検口600×600 SUS
	天井	LGS下地 t=5.0 無石綿フレキシブル板t=5.0 目透かしVP	天井	既存無石綿フレキシブル板吹付タイル下地 VP	
	廻縁	塩ビ	廻縁	既存塩ビ	

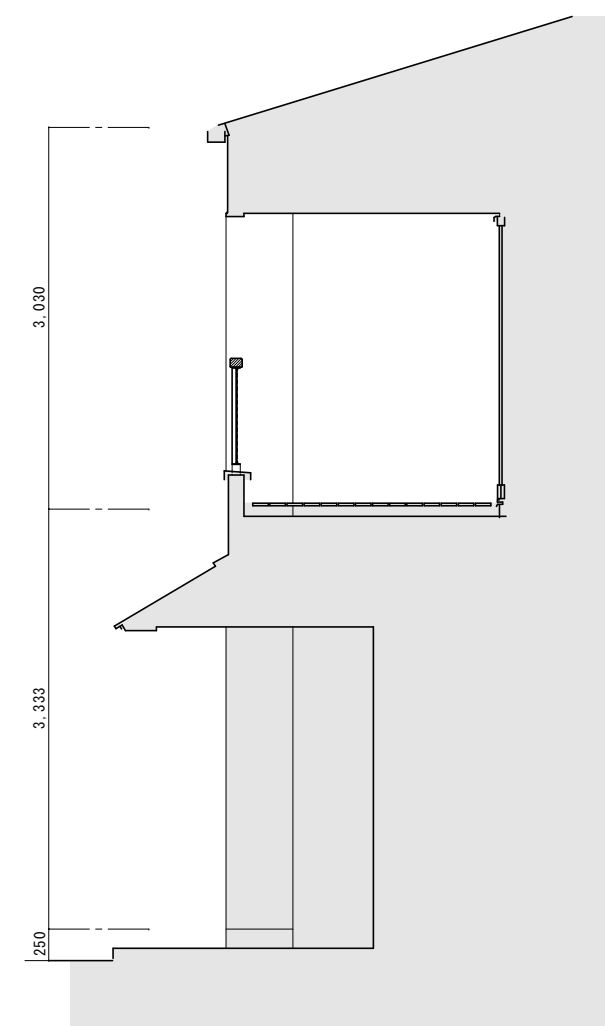
- 手摺改修項目
1. 既存ガラス：撤去再設置
 2. 既存金属手摺・手摺子：再塗装 DP
 3. 既存木製手摺：再塗装 SOP



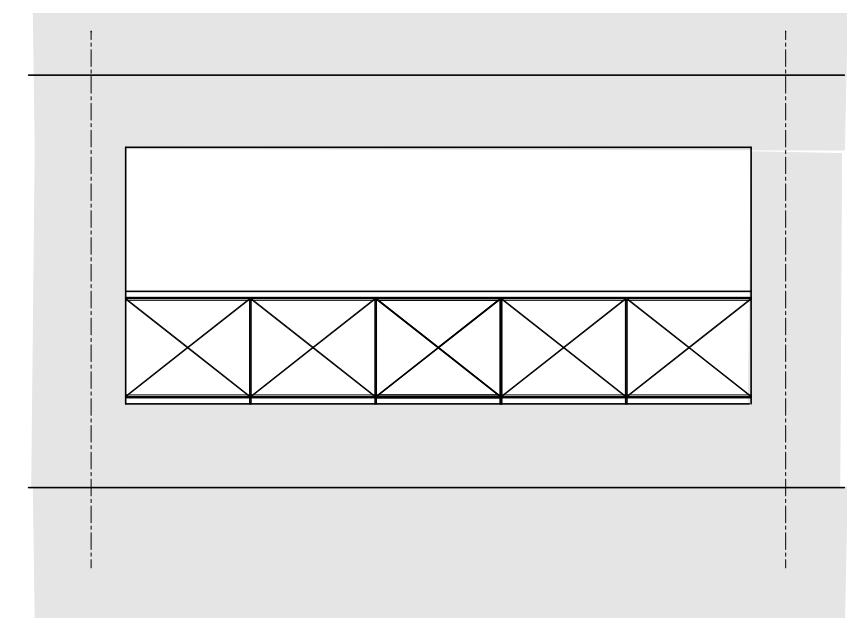
A-A' 断面 平面詳細図 1/10



手摺断面詳細図 1/10



A-A' 断面図 1/30



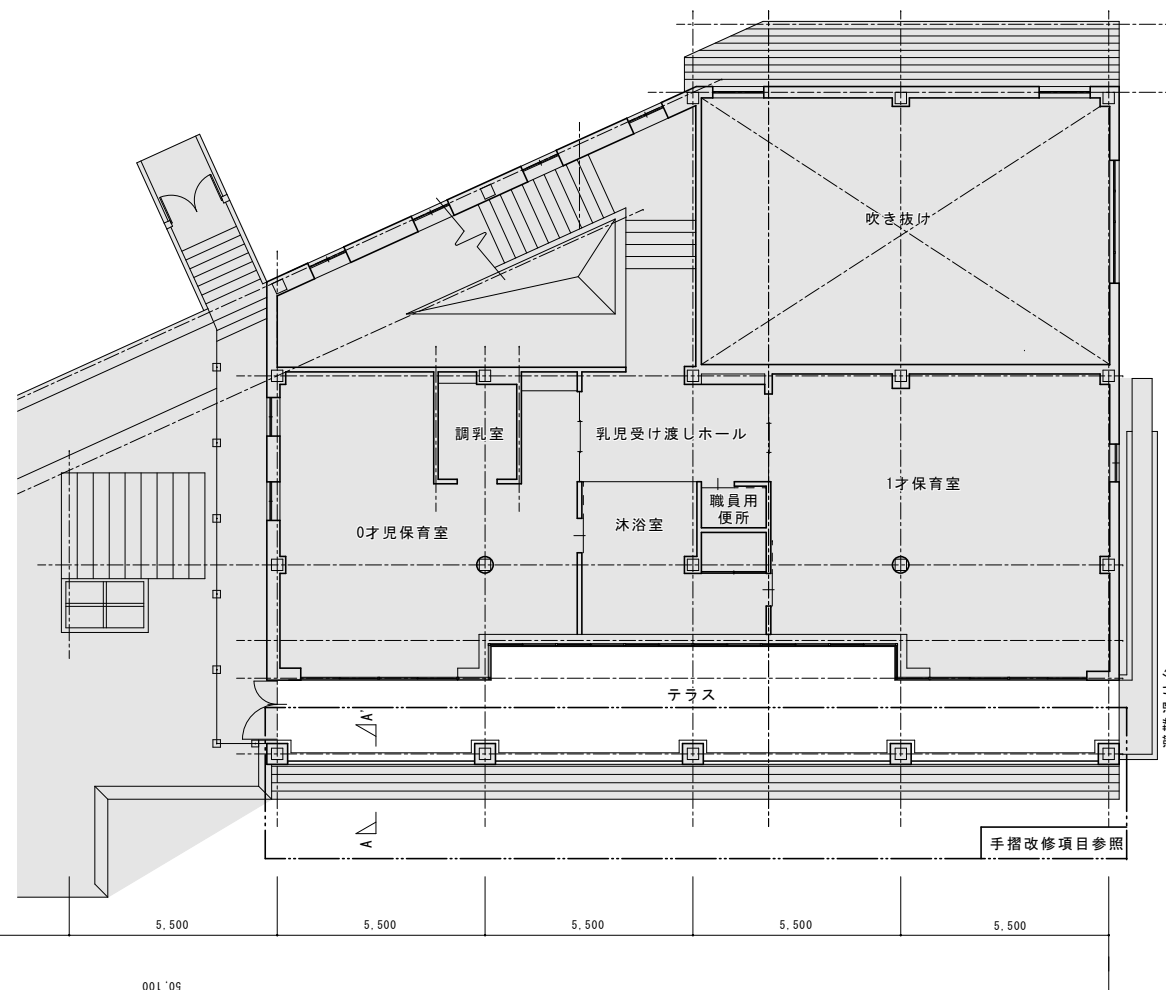
X5
X6
X7
X8

X6
X7
X8
X9

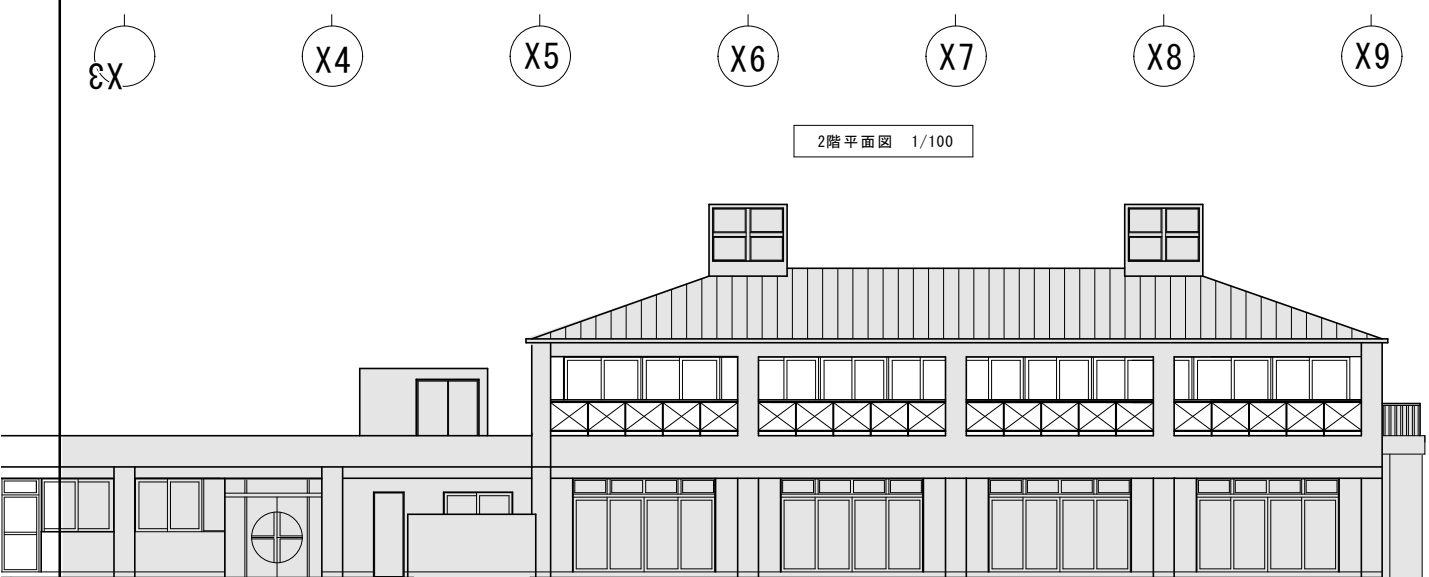
テラス立面図 1/30

テラス手摺図 1/100

: 工事対象外



2階平面図 1/100



南立面図 1/100

: 工事対象外

宮城県塩竈市本町1番1号
電話 022-364-1126
FAX 022-362-7249
塩竈市産業建設部まちづくり・建築課

設計年月日

調査

設計

工事名称
令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事

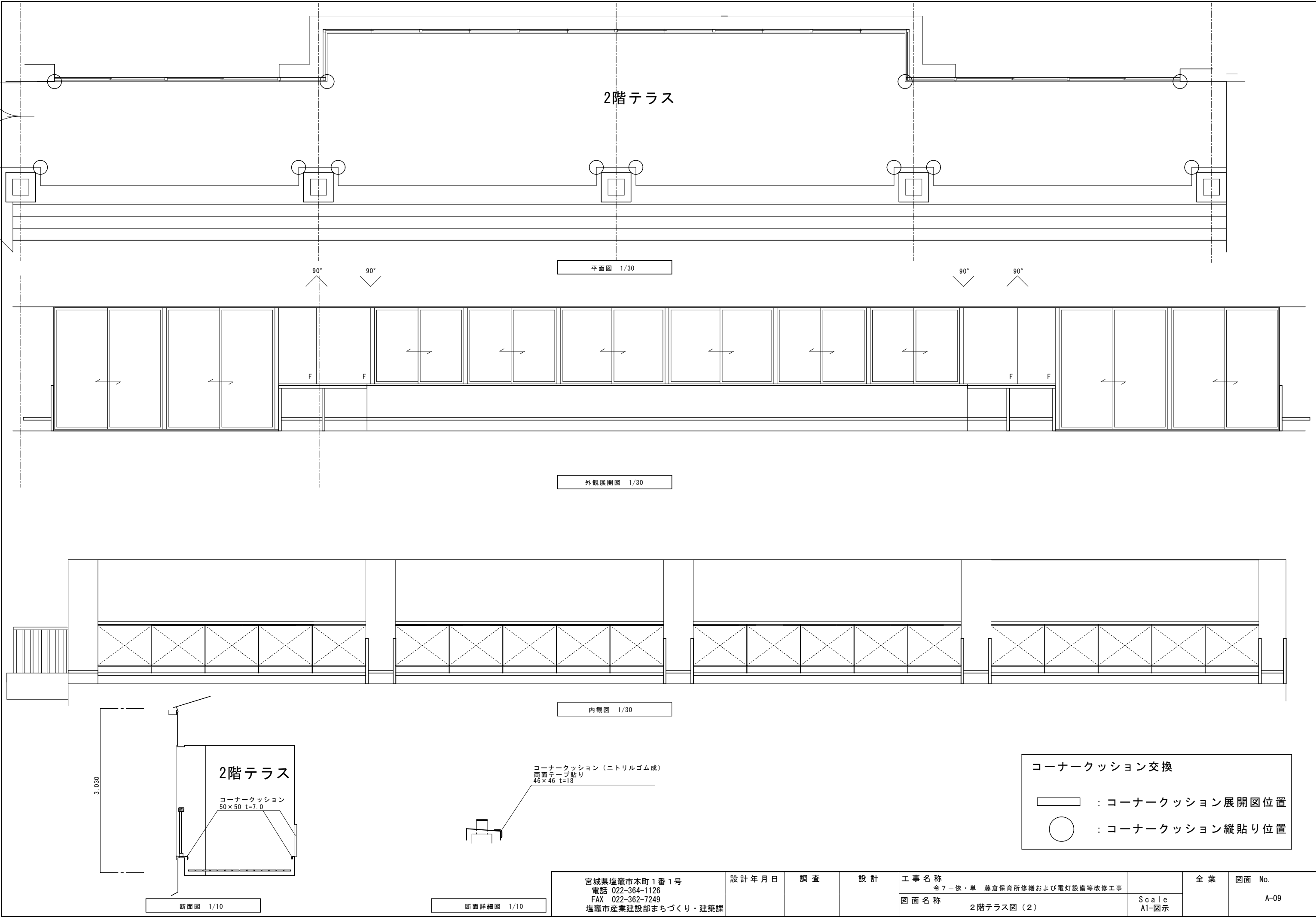
図面名称
2階テラス図(1)

Scale
A1-図示

全業

図面 No.

A-08

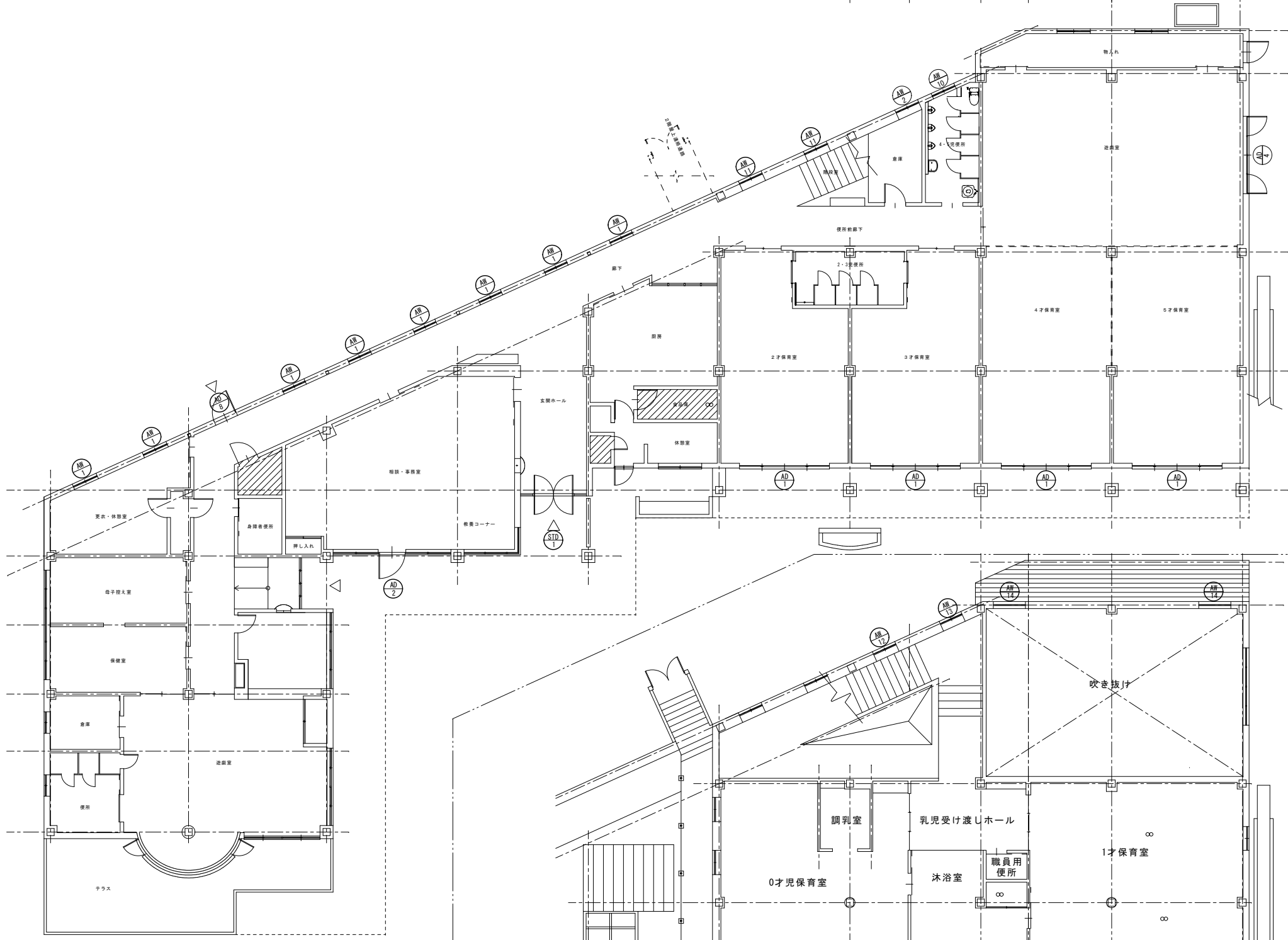


宮城県塩竈市本町1番1号 電話 022-364-1126 FAX 022-362-7249 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計年月日	調査	設計	工事名称 令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	Scale A1-図示	全業	図面 No. A-09
				図面名称 2階テラス図(2)			

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9

50.100
5.800 5.800 5.500 5.500 5.500 5.500 5.500 2.500 3.000 2.000 3.500 5.500

Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
33.873
1.800
7.500
5.000
5.000
2.773
5.800
5.800



1階平面図 1/100








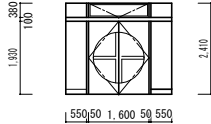
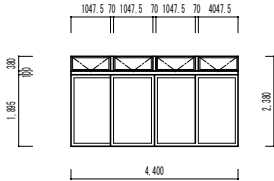
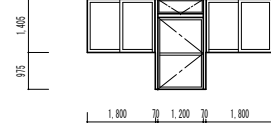
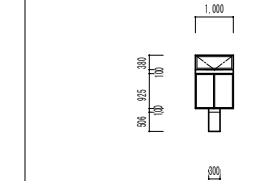
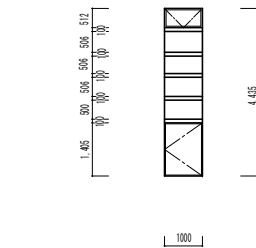
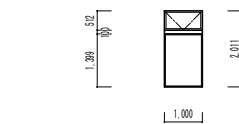
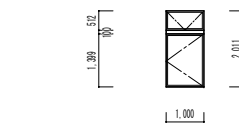


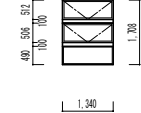
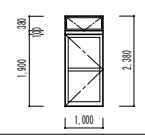
2階平面図 1/100




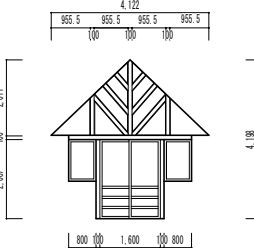
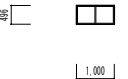
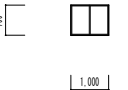
宮城県塩竈市本町1番1号 電話 022-364-1126 FAX 022-362-7249 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計年月日	調査	設計	工事名称 令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	Scale A1-図示	全葉	図面 No. A-10
				図面名称 建具図(1)			




【工事範囲等】

I．排煙窓修理（建物の排煙窓全て可動調査を行う。）
排煙装置修理※一部外壁塗装部含む

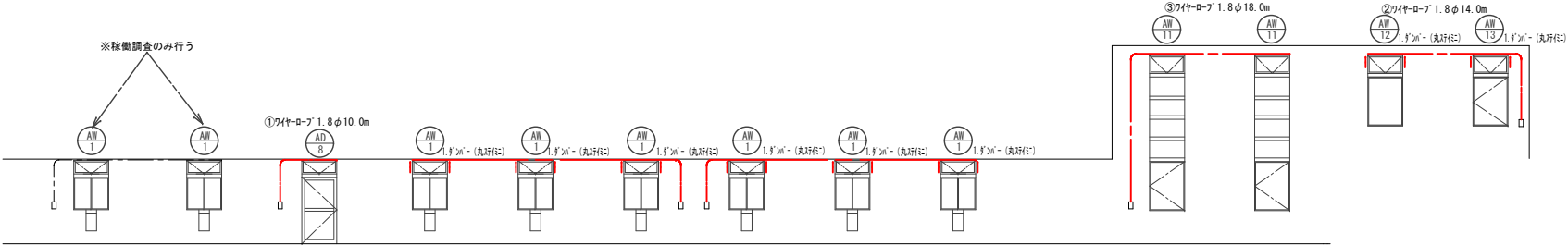
II．外部建具シール打換え（外壁再塗装部）

I	記号 ※数量：記載無きは1台			4			8		2		
	形式						<p>※更替・休館室の工事範囲：排煙窓 可動調査のみ</p> 				
	名称 見込み	排煙欄開付 両開きステンレスドア 120	排煙欄開付 4枚引き違い戸 70		中排煙欄開付片開窓 両袖引き違い戸 70	排煙欄開付 引き違い窓 下部FIX窓 70	排煙欄開付 FIX窓付き 外開き窓 70	排煙欄開付 FIX窓付き 外開き窓 70		排煙欄開付 FIX窓付き 外開き窓 70	
	場所	玄関 1	2才・3才・4才・5才 保育室		相談・事務室	廊下	階段	階段 2階		階段 2階	
	様子	テンブライト t=4.0	欄間 フロート t=5.0		フロート t=5.0	欄間 フロート t=5.0 他 テンブライト t=4.0	テンブライト t=4.0	テンブライト t=4.0		テンブライト t=4.0	
	金物	排煙オペレーター、握り棒、フランス棒とし、フロアヒンジ	付属金物一式 SUS下枠 水切り		付属金物一式 SUS下枠 SUS下横、DC、H/P、本締錠、握り玉	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		付属金物一式	
	記号 ※数量：記載無きは1台										
	形式	<p>※工事範囲：排煙窓 可動調査のみ</p> 									
	名称 見込み	排煙欄開付2段 FIX窓付き 外開き窓 70	排煙欄開付片開窓 70								
	場所	遊戯室	廊下								
	様子	テンブライト t=4.0、乙防部t=6.8 網入り透明	フロート t=5.0								
	金物	付属金物一式	付属金物一式 SUS下枠 SUS下横、DC、H/P、本締錠、握り玉								
	備考	メッシュ網戸、排煙オペレーター	排煙オペレーター								

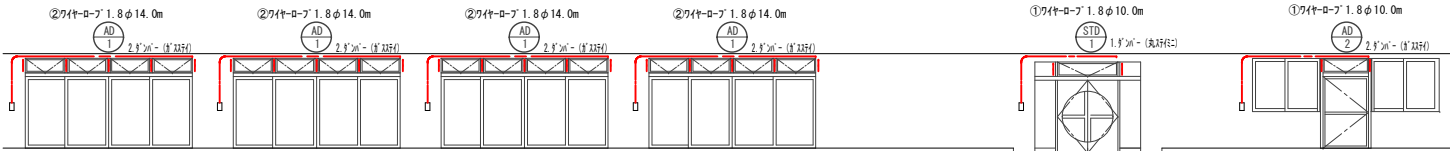
II	記号 ※数量：記載無きは1台								
	形式								
	名称 見込み	上部FIX 両袖外開き窓付き引き違い窓 100	引き違い戸 70	引き違い戸 70					
	場所	遊戯室	階段下倉庫	階段下便所					
	様子	テンブライト t=4.0	網入り型ガラス t=6.8	型ガラス t=4.0					
	金物	付属金物一式、SUS下枠、水切り	付属金物一式	付属金物一式					
	備考	メッシュ網戸、指錠の取止付き	メッシュ網戸	メッシュ網戸					

【凡例】	
	: ワイヤー交換
	: 既存操作ハンドル
	: 既存排煙窓、  ダンパー交換

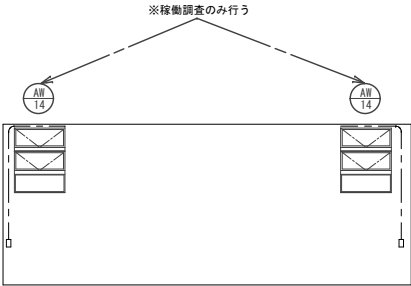
排煙装置部品交換		
①ワイヤー1.8φ 10.0m	3か所	
②ワイヤー1.8φ 14.0m	5か所	
③ワイヤー1.8φ 18.0m	3か所	
1.ダンパー (丸型)	24個	
2.ダンパー (角型)	34個	



1 階北側窓面内観図 1/100



1 階南側窓面内観図 1/100




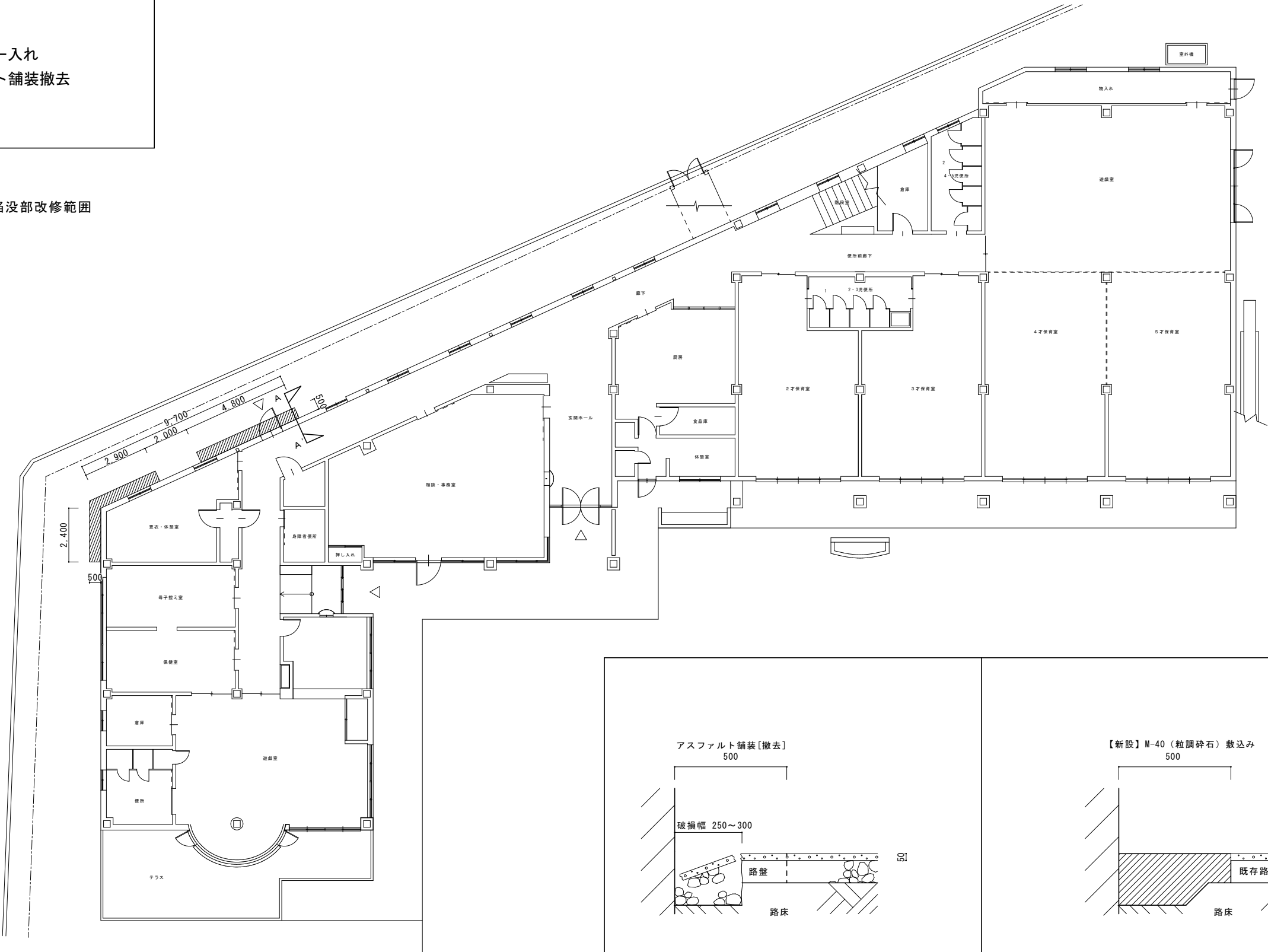
1 階遊戯室北側窓面内観図 1/100

アスファルト舗装陥没改修項目

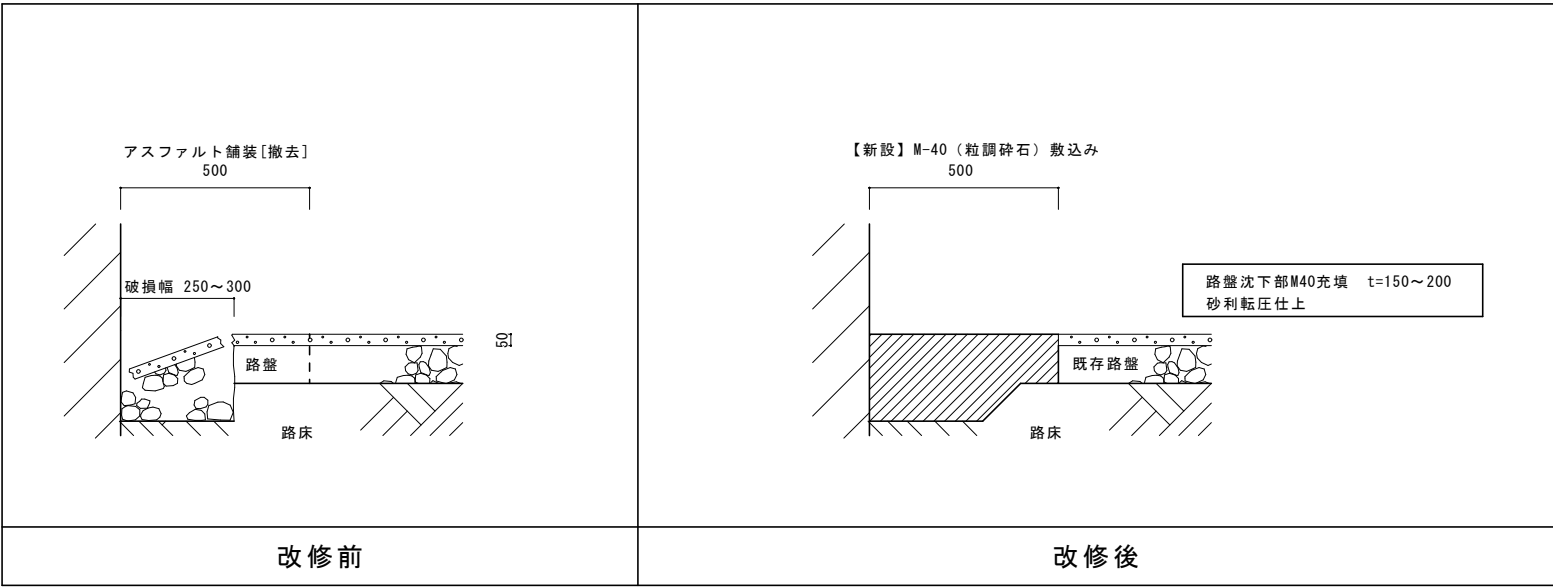
- 1. 陥没部周囲カッター入れ
- 2. 陥没部アスファルト舗装撤去
- 3. RC40充填転圧

凡例

 : アスファルト舗装陥没部改修範囲



1階平面詳細図 (S=1/100)



A-A'断面図 (S=1/10)

宮城県塩竈市本町1番1号 電話 022-364-1126 FAX 022-362-7249 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計年月日	調査	設計	工事名称 令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事	Scale A1-図示	全葉	図面 No. A-13
				図面名称 外構図			

[illegible]

23. 他工事との工事区分

他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。

24. 保温、結露防止

外壁に面する壁、天井でF P板（スタイロフォーム等）打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。

25. 電線類

本工事で環境配慮の観点から、原則としてE Mケーブルを使用するものとする。

26. 合成樹脂製可とう管

合成樹脂製可とう管は、P F管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。

27. 二種金属製可とう管

露出箇所
・ ビニル被覆あり
・ ビニル被覆あり
・ ビニル被覆なし
・ ビニル被覆なし

28. 電線本数、管路など

分盤室、制御盤、端子箱などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承認を受け変更してもよきとしない。

29. インサート

鋼鉄製とする。なお、床版で保温被打込み部分は、断熱材用インサート（垂絡つき製品）を使用する。

30. 呼び線

長さ1 m以上の連続しない電線管は、1、2 mm以上のビニル被覆保護を通籍する。

31. フラッシュプレート

図面に特記なき場合。（※ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む） ・ 樹脂製 ）とする。

32. フロアプレートベース

※ 水平高低調節付（空転防止リフing付） ・ 銅合金製 ・ アルミ合金製

33. ハンドホール蓋

黒色およびチエーン（ステンレス製）付のものとする。

34. 支持金物、固定金物

電線の機械強及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキヤップ（樹脂製）を取り付けるとす。
また、接続をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。

35. あと施工アンカー

施工方法
・ 接着系 （※ ※ 有機系 ・ 接着剤）
・ 金属係保系 （※ ※ 本体打込式）
性能・施工確認
※ 行わない ・ 行う

36. 接地極の種類・表示等

接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、E Bの長さは1、5 0 0mmとする。
ただし、D=1 0以下、1、0 0 0mm、W=3 0以下、2、0 0 0mmとする。
※ 埋設型及び屋外用接地極の埋設は不要とする。

接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
・ 常備設備用接地	E L A	Ω以下	E P × 2
・ 常備設備用接地	E L A	Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 1組
・ 共用接地	E A・E D・E L H	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 2組
・ 共用接地	E A・E C・E D	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 2組
・ A 種	E A	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 2組
・ B 種	E B	Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 2
・ C 種	E C	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 2組
・ D 種	E D	100 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 1
・			
・ 構内交換機（張替）用	E t	Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 1組
・ 本設備側の保安装置	E s t	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 2組
・ 電気引込口の保安器	E d t	100 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 1
・ 施用地端部	E s	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 1
・ 防犯設備用	E S	Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 1組
・			
・ 測定用	E o	—	E B (D = 10又は W = 30) × 1
・ 測定兼用（低圧用）	E l L	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 2組
・ 測定兼用（高圧用）	E l H	10 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 3連 - 2組
・ 測定兼用（モジュール用）	E M D	100 Ω以下	E B (D = 14又は W = 40) × 1
・ 構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

37. 総合調整

各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。
・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内交換設備

38. 塗装工事

下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外 ※ 周室

39. 山留め

切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1、5mを超える場合には、山留めを行うものとする。

40. 舗装工事

国土交通大臣官庁宮内省庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）2 2章（舗装工事）及び建築工事監理計（下巻）2 2章（舗装工事）による。

41. はつり

既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。

42. 再使用機器

再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定の上、取り付ける。

43. 撤去後の補修等

機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上りと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を生じさせる場合は、原状に復旧する。

④ アスベスト

アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理の上、監督職員へ報告すること
アスベスト使用状況（ ）

⑤有害物質の取り扱い

P C B（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小型二次電池等）、水銀、放射性物質（放射式検出機等）の有害物質の含有率を出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。

1. 工事範囲

・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類

2. 電気方式

・ 幹線 三相3線式 1 0 0 / 2 0 0 V 5 0 H z
・ 分岐 三相3線式 1 0 0 / 2 0 0 V
・ 分岐 三相2線式 1 0 0 V
幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線

3. 施工方法

分岐 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ）
コンセント ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ）
屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線
ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製

④ 照明器具

L E D ・ 一体型 ・ ダウンライト ・ その他

5. 防災用照明器具

・ 非常用照明器具 （※ ※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形）
・ 誘導灯 （※ ※ L E D誘導灯 ・ 誘導標識）

6. 照度測定

照度測定は、原則、本工事範囲全で行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。

7. ハイテンションアウトレット

※ 銅合金製 ・ アルミ製
※ 飛び出し形 ・ 外部固定型

8. 予備配管

埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は（P F 2）を1本、5個以上の場合は（P F 2）を2本以上、天井裏まで立て上げる。
案下に配管・配線スペースのない業には、1 スパンにV E（3φ）2本を予備スリーブとして埋込む。

1. 工事範囲

・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類

2. 電気方式

・ 幹線 三相3線式 2 0 0 V 5 0 H z
・ 分岐 三相3線式 2 0 0 V

3. 施工方法

分岐 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他
幹線 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ その他
屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線
ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製

4. 警報装置

※ 警報形（電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置）

5. 電磁閉鎖開閉器押扣（遠方操作用）

※ 遠達連動形配線器具

6. 機器への接続

電動機などへの接続は本工事とする。

7. 電機機等の接地

図示以外は金属管接地とする。

8. 連相用コンデンサ

各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。

9. 電気自動車充電装置

・ 機器類
・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型
・ 急速充電装置 直流電圧 V

1. 電気方式

幹線 相 線式 V 5 0 H z
分岐 相 線式 V

2. 施工場所及び面積

・ （㎡） ・ （㎡）

電力配線設備	1. 工事範囲	・ 受電部	・ 引下げ導線	・ 接地極埋設																																																																													
	2. 受電部	・ 変圧	・ 導上導体	・ 笠木（別途）など																																																																													
	3. 避雷導線	・ 引下げ導線	・ 構造体利用																																																																														
	4. 接地極	※ 接地極埋設	・ 構造体利用（測定時期	回数																																																																													
	5. 測定用補助接地極	・ 設置																																																																															
受変電設備	1. 工事範囲	・ 機器類																																																																															
	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 100V/200V ・ EM-CET38° ・ EM-CET60° ・ EM-CET38°-3C ・ EM-CET60°-3C																																																																															
	3. 引込ケーブル	・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・ キュービクル配電盤 ・ 高圧閉鎖配電盤																																																																															
	4. 配電盤	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S） ・ 高圧交流遮断器（CB） ・ 定格遮断電流 kA																																																																															
	5. 高圧機器類	・ 油入式 ・ モールド ・ 手動 ・ 電動 ・ 電磁																																																																															
	7. 変圧器	・ 単相変圧器 kVA ・ 三相変圧器 kVA （油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品）																																																																															
	8. 進相用コンデンサ	・ 低圧 ・ 高圧 ・ 油入式 ・ ガス式																																																																															
	9. リアクトル	・ 6% ・ 13% ・ 油入式 ・ モールド																																																																															
	10. 自動力率制御装置	・ メーターリレー形 ・ 静止形																																																																															
	11. 測定用補助接地極	・ 設置																																																																															
	電力貯蔵設備	1. 直流電源装置	※ 非常用照明器具電源、受変電設備制御電源用 ・ 受変電設備制御専用 ・ 非常用照明器具専用蓄電池 ・ 鉛蓄電池（・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形MSE） ・ アルカリ蓄電池（・ AH ・ AMH） ・ リチウムイオン電池																																																																														
2. 交流無停電電源装置		用途（容量） 蓄電池 ・ kVA ・ 鉛蓄電池（・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形MSE） ・ アルカリ蓄電池（・ AH ・ AMH） ・ リチウムイオン蓄電池																																																																															
発電設備	1. 工事範囲	・ 機器類																																																																															
	2. 形式	・ 簡易形 ・ キュービクル式 ・ オープン形 ・ 屋外形																																																																															
	3. 発電機	電気方式 相 線式 50Hz 電圧 V 定格出力 kVA 運転時間 時間																																																																															
	4. 原動機	種類 ・ ディーゼル ・ ガスタービン 定格出力 kW以上（PS以上） 始動方式 ※ 電気式 空気式 冷却方式 ・ ラジエータ式 ・ 水冷却方式																																																																															
	5. 燃料	種類 燃料小出槽 L 主計油槽 ・ なし ・ あり（・ 別途 ・ 本工事）																																																																															
	6. 太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力 kW パワーコンディショナ 相 線式 定格電圧 V 定格出力 kW 自立運転 ・ 無 蓄電池 ・ 有（定格容量 kWh）																																																																															
	7. 系統連系	・ 有 ・ 無																																																																															
構内交換設備	1. 工事範囲	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（・ 全部 ・ 端子盤以降）																																																																															
	2. 電話交換機	形式 局線 / 回線 内線 / 回線 回線数 局線 / 回線 内線 / 回線																																																																															
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 EM-TIEF0.65-2C（・ 20m） EM-EBT0.4-2P（・ 20m） ワイヤプロテクタ（樹脂製 外形寸法約20×8）1.5m																																																																															
	4. ローテーションアウレット（亀甲形）	※ 一般電管用 個（・ 納入する ・ 取り付ける） ※ 銅合金製 ・ アルミ製																																																																															
	5. 保安器用接地	※ 本工事 ・ 別途工事																																																																															
通信用設備	1. 工事範囲及び施工方法	<table><tr><th>項目</th><th>配管</th><th>配線</th><th>機器類</th><th>合成樹脂管配線</th><th>金属管配線</th><th>ケーブル配線</th></tr><tr><td>・ 構内情報通信網</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 情報表示</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 映像・音響</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 拡声</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 誘導支援</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ テレビ共同受信</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ テレビ電波障害防除設備</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 監視カメラ</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 駐車場管制設備</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防火・入退室管理</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>			項目	配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線	・ 構内情報通信網	・	・	・	・	・	・	・ 情報表示	・	・	・	・	・	・	・ 映像・音響	・	・	・	・	・	・	・ 拡声	・	・	・	・	・	・	・ 誘導支援	・	・	・	・	・	・	・ テレビ共同受信	・	・	・	・	・	・	・ テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・	・	・ 監視カメラ	・	・	・	・	・	・	・ 駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・	・ 防火・入退室管理	・	・	・	・	・	・
	項目	配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線																																																																										
	・ 構内情報通信網	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ 情報表示	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ 映像・音響	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ 拡声	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ 誘導支援	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ テレビ共同受信	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ 監視カメラ	・	・	・	・	・	・																																																																										
	・ 駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・																																																																										
・ 防火・入退室管理	・	・	・	・	・	・																																																																											
情報通信設備	2. 構内情報通信網設備	ボックス 合成樹脂製 ・ 金属製 種類 10BASE-E-T 10BASE-TX 100BASE-T ・ 10GBASE-SR（自立形）																																																																															
	3. 情報表示設備	・ 視時計 回線（※ 壁掛形 ・ 自立形） ・ 電子式チャム組込 ・ プログラムタイマ組込																																																																															
	4. 映像・音響設備	・ 増幅器 W ・ 映像（・ DVD ・ BD ・ S-VHS） ・ プロジェクタ（※ 前面投射式 ・ 背面投射式） ・ 音響設備（・ CD ・ オディオレコーダー）																																																																															
	5. 拡声設備	・ 一般放送用 ・ 非常放送兼用 ・ 増幅器 W（※ 卓上形 ・ キャビネットラック形） ・ インターホン ・ トイレ等呼出装置 ・ 音声誘導装置																																																																															
	6. 誘導支援設備	・ テレビアンテナ（AU ・ CSBSA ・ CSA） ・ 地上波アンテナマスト（※ 壁面取付形 ・ 自立形） ・ BSアンテナマスト（・ 壁面取付形 ・ 自立形） ・ 電界強度測定及び受信調査（※ 全チャンネル）																																																																															
	7. テレビ電波障害防除設備	・ 事前調査 ・ 機器類																																																																															
	8. 監視カメラ設備	・ 白黒方式（※ カラー方式） ・ 伝送方式（・ アナログ ・ ネットワーク）																																																																															
	9. 駐車場管制設備	・ 管制盤 ・ 検知器（・ 光線式 ・ ループコイル式） ・ 信号灯・警報灯 ・ 発券機 ・ カードゲート ・ カードリーダー																																																																															
	10. 防火・入退室管理設備	・ 接地工事（※ 本工事 ・ 別途）																																																																															
	火災設備	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類																																																																														
		2. 火災報知装置	・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 受信機 型 線 回線（アドレス） ・ 複合型 型 線 回線（火報 回線、自動閉鎖 回線、ガス漏れ 回線） ・ 警報伝達 型 線 回線 ・ 警報受信箱 型 専用形 ・ 埋込形 ・ 露出形（・ 屋内消火栓箱に組込み） ・ 感知器 型 用 数 個（・ 自動試験機能付）																																																																														
3. 非常警報装置		・ 非常ベル（自動式サイレンを含む） ・ 非常放送装置																																																																															
4. 自動閉鎖装置		・ 運動制御器 ・ 自動閉鎖装置（・ 防火戸用 ・ 防煙ダンパ用 ・ 防火シャッター用） ・ 感知器																																																																															
5. ガス漏れ火災警報装置		・ 受信機 回線（・ 都市ガス用 ・ 液化石油ガス用） ・ 単独（・ 壁掛形 ・ 自立形） ・ 火災受検機などとの複合機 ・ 検知器 ・ 併設 ・ 定格電圧（・ AC100V ・ DC24V） ・ ガス検知出力信号（・ 有電圧出力方式 ・ 無電圧接点方式）																																																																															
6. 消火器類		・ 消火器 種類 ・ 消火器収納箱 仕様 数量 本 数量 面																																																																															
宮城県塩竈市本町1番1号		工事名称																																																																															
電話 022-364-1126		令7-依・単 蔵倉保育所修繕および電灯																																																																															
FAX 022-362-7249		図面名称																																																																															
塩竈市産業建設部まちづくり・建築課		電気設備改修工事特記仕様																																																																															

1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類
2. 監視制御対象設備	・ 動力設備	・ 受電設備	・ 発電設備
3. 表示操作盤	・ 壁掛形 組込み機器	・ 自立形	・ 分散処理装置 ・ 電源装置
4. 監視制御装置	構成機器	・ グラフィックパネル	・ 内蔵式液晶ディスプレイ
		・ 監視操作装置	・ 分散処理装置
		・ 中央処理装置	・ 伝送装置
		・ 検知器装置	・ 電源装置
		・ 検知用印字装置	・ インクジェット式
			・ 写真式
1. 工事範囲	・ 管路	・ 配線	・ 機器類
2. 電気形式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz	・ 低圧 三相3線式 200V	・ 低圧 単相3線式 100V/200V
3. 布設方法	※ 地中埋設式 (FEP)	・ 厚鋼電線管	・ GLT)
4. 柱上機器	・ 高圧負荷開閉機	※ 一般用	・ 耐重塩じん用
	・ 避雷器	※ 一般用	・ 耐雷用
	・ 高圧カットアウト、がいしなど	※ 一般用	・ 耐雷用
5. 高圧ケーブルの 端処理	屋外側 ※ 一般用	・ 耐雷用	※ 処理看板取付 (屋内外共、線名、作業日、氏名を表示)
6. その他	東北電力 (株) 外線工事基準 (架空線編) に準ずる。		
7. 外灯設備	・ 定格電圧	V	W
8. 沈下対策	地中経路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。()		
9. 標識シート	・ 高圧ケーブル	・ 低圧ケーブル	
10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールまでの予備配管 (FEP100:1本) を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管 (FEP80:2本) を設ける。		
1. 工事範囲	・ 管路	・ 配線	・ 機器類
2. 用途	・ 電話用	・ 時計、拾声用	・ 火災警知用
3. 施工方法	※ 地中埋設式 (FEP)	・ 厚鋼電線管	・ GLT)
4. 標識シート	※ 弱電用		
1. 特記事項 ※ 建物一式のうちこわし の工事に適用とし、機器 等の改修工事は適用外	①施工計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式 建設副産物処理表 (施工前調査表)」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②除去品の一については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式 2-2 建設副産物処理表 (除去品調査表)」として監督職員に提出すること ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある除去品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の訂正を行い、監督職員の確認を得たうえで処理、処分すること ④除去品の取扱いについては、関係法令等に従い適切な処理、処分を行うとともに、その結果を「指定様式 2-3 建設副産物処理表 (最終)」として監督職員に提出すること		

表 2「機器取付高さ」 図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりたい場合は監督員と協議する。

電 力 設 備	名 称	取 付 高 (mm)	名 称	取 付 高 (mm)
電 力 共 通	引込開閉器	地上～管中心	電 集約保安箱	地上～引込点
	分電盤	床下～中心	端子箱 (廊下、室内)	床下～上端
		床下～中心	壁付アウトレット (E P S など)	床下～中心
			壁付アウトレット (一般)	床下～中心
			「 (和 室) 」	150～200
電	スイッチ (一 般)	床下～中心	時 壁掛時計	床下～中心
	「 (和 室) 」	1,200	計 子時計	2,300
	コンカト (一 般)	1,300	「 (身体障害者) 」	2,300
	「 (和 室) 」	150～200	拡 壁付アラナキター	1,300
	「 (台 上) 」	100	「 壁付インターホン (一 般) 」	1,300
	「 (ファン用) 」	床下～下端	「 (身体障害者) 」	1,300
	「 (照 明) 」	800～1,000	通 壁付アウトレット (一 般)	1,300
	「 (床 座) 」	1,300	「 (和 室) 」	150～200
	「 (機械室) 」	500～1,000	設 機器吸音箱	天井下～上端
	「 (土 間) 」	800～1,300	機 直列ユニット (一 般)	床下～中心
	ブラケット (一 般)	床下～中心	「 (和 室) 」	200
	「 (機 場) 」	2,000～2,300	警 表示装置	床下～中心
	「 (機 上) 」	2,000～1,150	報 壁付警備機	1,300
	直轄口誘導灯	床下～下端	「 ベル、ブザー、チャイム 」	2,300
	廊下通路誘導灯	床下～上端	表 壁付押しボタン (一 般)	床下～中心
			「 (身体障害者等玄関) 」	900
動	壁掛形制御盤	床下～中心	受電機	床下～中心
	開閉器箱	1,500 (上端2,000以下)	耐震受電機	800～1,500
力	電磁開閉器用ボタン	1,300	火 機器吸音箱	800～1,500
	非常ボタン (使用用)	400, 900	災 免震機	800～1,500
	壁付インターホン (警機)	1,300	報 表示装置	床下～中心
身 障 人	「 (玄関用機) 」	1,100	知 ケル	2,300
身 障 人	廊下表示灯 (復旧ボタン付)	1,300	器 液化石油ガス用検知器	床下～上端
用	身障表示ランプ	1,500	都都市ガス用検知器 (経費)	天井～上端
	スイッチ	1,100	「 (重負) 」	250

表 1「完成書類」 引き渡し時には下記の書類を提出する。

名 称	完 成 書 類	部数	名 称	完 成 書 類	部数
1 完成調書	常規工事完成引渡要領 (令和7年4月1日版)	1部	6 管理の手引き	A 4 版: チューブ式ファイル	1部
2 完成図 (縮小)	白焼縮小製本 A 3 版: 折り うち 1部は設備課保管	2部	①工事概要書 ②機器完成図 ③機器取付取説書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表		
3 完成図・施工図 (電子データ)	JWJ又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	C D 2枚	7 工事写真 ①施工写真 ②完成写真	A 4 版: チューブ式ファイル (着手前、施工状況、完成の各写真) A 4 版: ペーパーファイル (完成後に添付)	1部 1部
4 機器完成図	A 4 版: 製本	1部	8 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事進捗状況は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し ⑨官公庁への届出書	A 4 版: チューブ式ファイル	1部
5 取扱説明書	A 4 版: 製本	1部	9 工事に関する承諾 確認書		

注記: 機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や部材を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

全 業

電気改修工事

図面番号

電気特-01

【1階照明器具のLED化リスト】

既設照明器具型番					
番号	既設製品型式	新設型式 ※同等品	1F個数	2F個数	合計
A1		XLX450VENTLF9			0
A2		XLX420RENTLF9			0
B	FRL1=402=RH15	XLX450VKNTE9			0
C1		XLX450DENPLF9	1		1
C2	FSS4-401-RH15	XLX420AENPLE9	5		5
C3		XLW453DENZLE9	3		3
C4	FSS4A-401-RH15	XLX450DENPLE9	2		2
C5		XLW213DENZLE9	1		1
C6		XLX200AENCLE9	1		1
D		FYY56020KLT9			0
E		XLX4500DENPLF9	52		52
F	F40W RH15	NNF4170LT9・LDL40SN1426	8		8
G	FRL8=P363-EH15	XL373LWVLA9			0
H		LGB1265LE1	1		1
I	FBS2=201=GL15	LGB52095LE1			0
J1		NNFW21800KLE9	3		3
J2	FBC2-151-GL	LGB85042LE1	2		2
K1	FRS11-D131-EL15	XND0669NSLE9	3		3
K2	FRS11-D271-EL15	XND1069SLLE9	5		5
K3	FD13W EL15	XNW1063WNLE9	2		2
L	IRS4-60	XND0669WLLLE9	2		2
M1		XLGE5001CE1			0
M2	ISC5-60	LGB51655LE1	1		1
N	IL60W	LGB8708K	2		2
O	IL40W2	LGB81566LE1	11		11
P	IL60W2	LGB1300LLE1	1		1
Q	FD13W EL15	XLG8013CE1	9		9
R		NTN8802GL	2		2
S	HML3=250M=BH25	XND993TSSLR9			0
T	IRS3=R150				0
誘導等					
a1	SH1-FSF20-20B (壁付)		2		2
a2	SH1-FSF20-20B (壁直付)		1	3	4
b	ST1-FSF20-20B (天井直付)				
d	ST1-FSC10-101		2		2

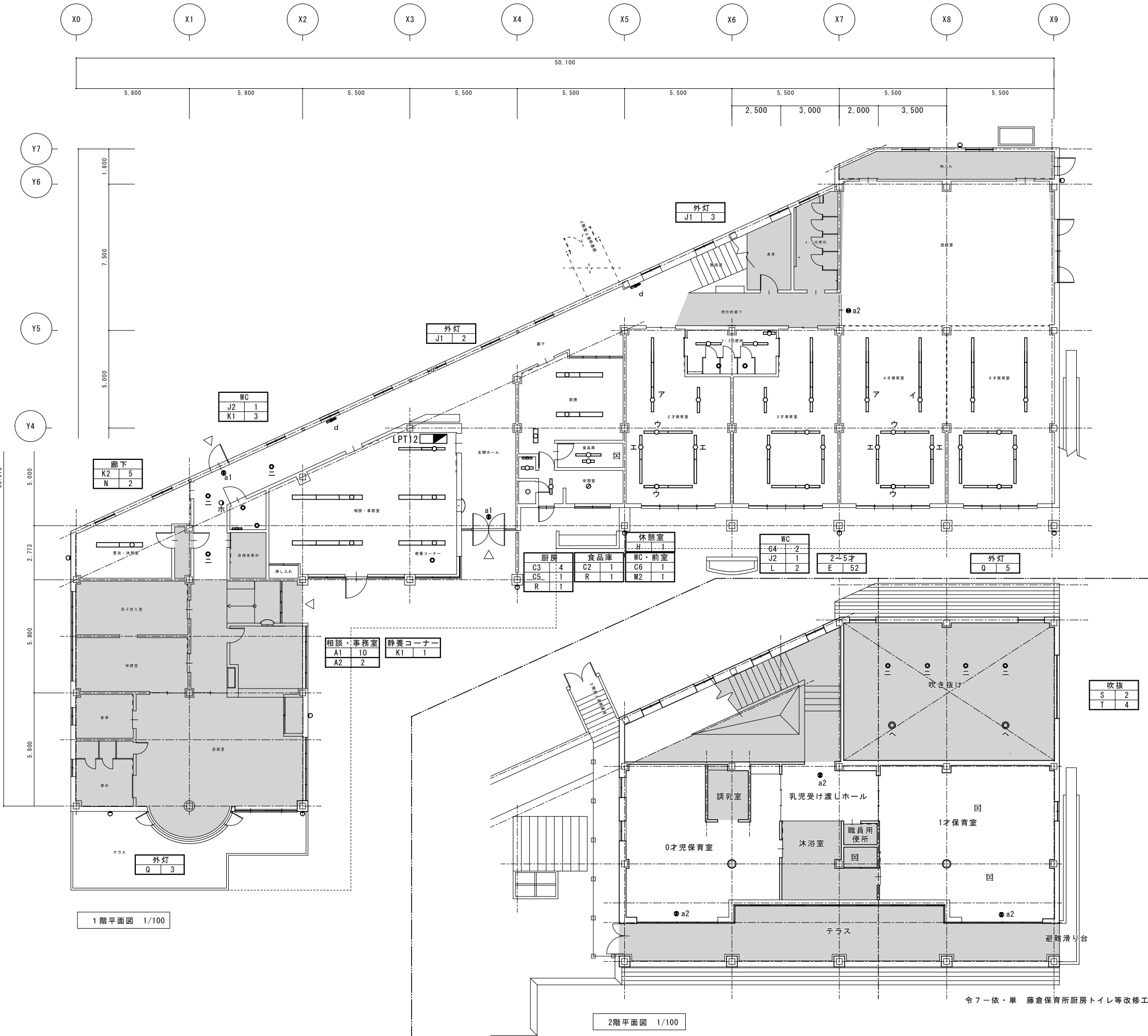
- ・既設照明を撤去・処分し、新設照明を据付けること。
- ・ケーブル等は既設流用とする。リニューアルプレート等必要になる場合は、別途協議により対応するものとする。

更衣・休憩室	
C1	1

--	--

--	--

--	--



令7-依・単 藤倉保育所厨房トイレ等改修工事

：工事対象外

宮城県塩竈市本町1番1号
電話 022-364-1126
FAX 022-362-7249
塩竈市産業建設部まちづくり・建築課

設計年月日

調査

設計

工事名称

令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事

図面名称

電灯設備 平面図

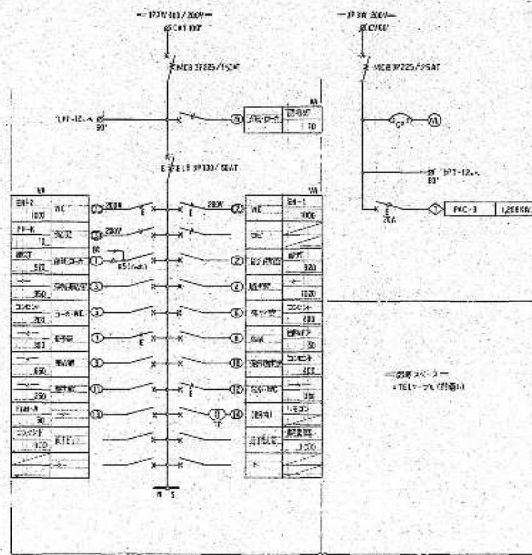
Scale
A1-図示

全葉

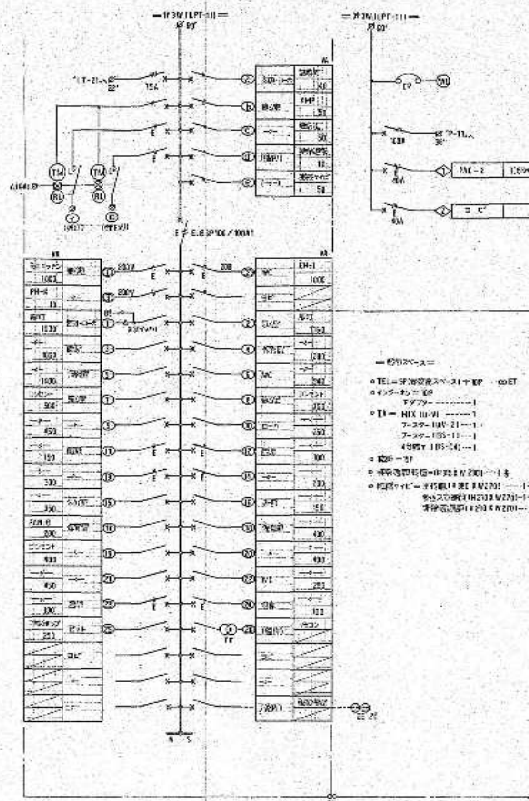
図面 No.

E-01

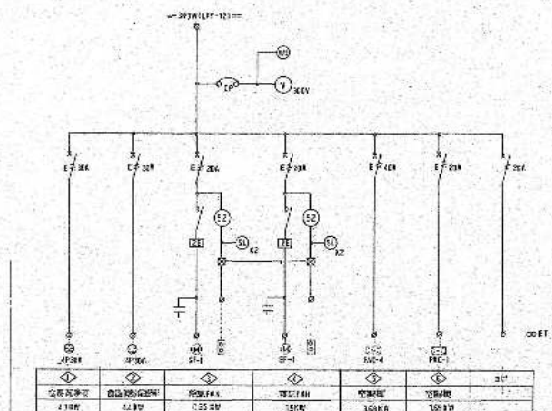
参考図 1 [竣工図]盤幹線図



LFT-11

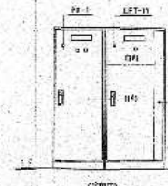


T-21



P-11 (20-17.27M)

LP-12 (19-15, 20 JAN 20 06 54Z)



Technical drawing of a three-door metal cabinet. The drawing includes the following labels and dimensions:

- Top Labels:** P-31-51, D1-2, LPT-12
- Left Door:** Dimensions 1200 (width) and 2000 (height). A small label "A B C" is visible on the lower left.
- Middle Door:** Dimensions 1200 (width) and 2000 (height). A small label "A B C" is visible on the lower left.
- Right Door:** Dimensions 1200 (width) and 2000 (height). A small label "A B C" is visible on the lower left.
- Internal Components:** The drawing shows internal shelves and drawers. A label "A B C" is visible on the lower left of the middle section.
- Bottom Label:** A small label "A B C" is visible at the bottom center.

— 2 芯 5 号 同 轴 —

3 ———— MICR IP10 / 20AT

4 ———— MICR 2P10 / 20AT

5 ———— ELB 2P10 / 20AT / 30MR

6 ———— MICR 2P10 / 20AT / 30MR

参考図 2 [竣工図]照明器具姿図

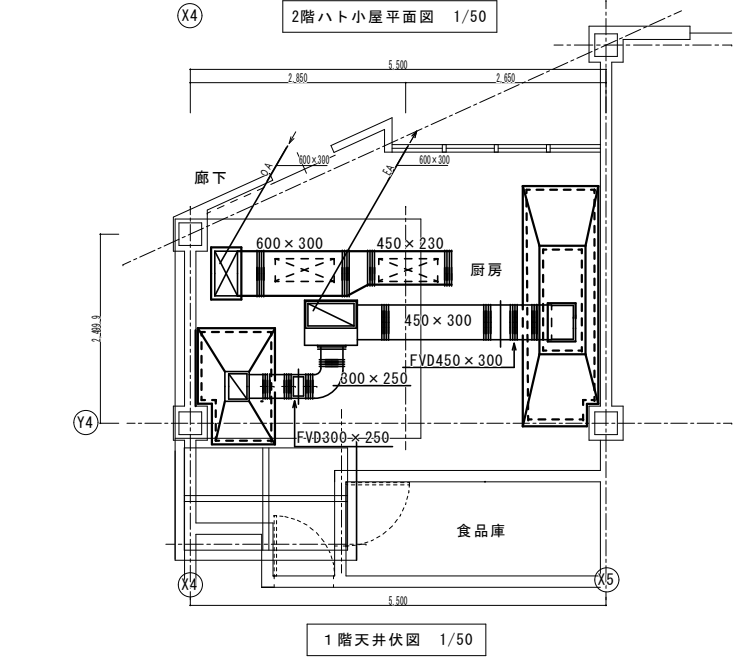
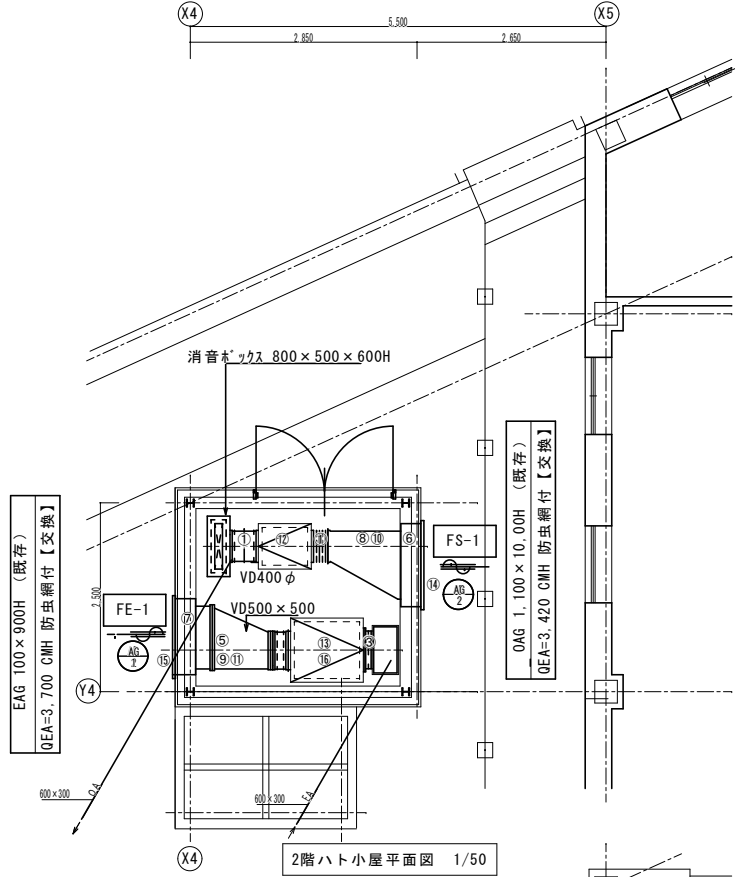
[illegible]

機器一覧表（既存）

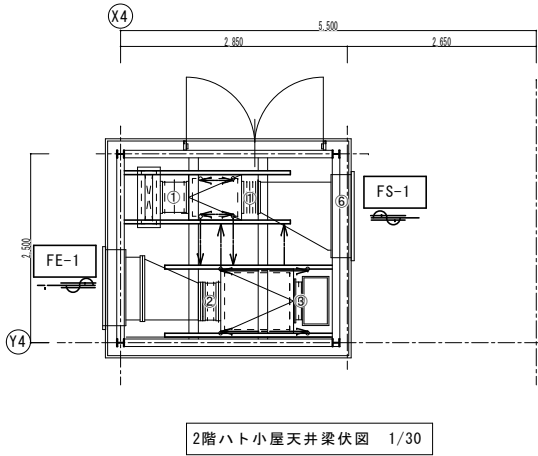
記号	機器名	型式	室名	台数	番手	風量	静圧	電気容量			起動方式	防振架台
					# mm	CMH	Pa	φ	V	kw		
FS-1	送風機	消音機付付付付付・天吊型	2階ハト小屋（厨房天井裏）	1	N#4	3,420	150	3	200	0.60	直入	2'4m0'8"
FE-1	排風機	厨房用付外直結型消音機付付付付・天吊型	2階ハト小屋（厨房天井裏）	1	2#	3,700	300	3	200	1.5	直入	2'4m0'8"

建具一覧表（既存）

記号	名称	金物	備考
AG-1	ガラリ	ダクト接続アングル	SUS防虫網、W1000×H900
AG-2	ガラリ	ダクト接続アングル	SUS防虫網、W1100×H1000



改修項目	
1. ハト小屋内、送風機・排風機および付属金物等のはく落復旧	
名称/寸法 等	数量
①吸気キャンバス【交換】 400×400×400φ 角丸	2個
アルミ箔張りガラスクロスダブル仕上	
②排気キャンバス【交換】 580×385	1個
アルミ箔張りガラスクロスダブル仕上	
③排気キャンバス【交換】 230×320×400角	1個
④ 〃 キャンバスFG再利用現場脱着 副資材含む	4個
⑤排気チャンバーボックス保温 ALGC40	1機
⑥吸気ガラリチャンバーボックス接続、フランジ交換 L-40×40×5	2機
⑦排気ガラリチャンバーボックス接続、フランジ交換 L-40×40×5	1機
⑧吸気チャンバーボックス吊込、全ネジボルトφ9 4本	1機
⑨排気チャンバーボックス吊込、全ネジボルトφ9 4本	1機
⑩吸気チャンバーボックス防振パッパル、4個	1機
⑪排気チャンバーボックス防振パッパル、4個	1機
⑫吸気ファン防振パッパル 4個、振止めボルト8本	1機
⑬排気ファン防振パッパル 4個、振止めボルト8本	1機
⑭吸気外部ガラリ防虫網交換 SUS304、1000×900	1か所
⑮排気外部ガラリ防虫網交換 SUS304、1100×1000	1か所
⑯ファンベルト交換	1か所
⑰1階厨房養生清掃および2階ハト小屋耐火材落下物片付け清掃	1室



〔凡例〕【新設】

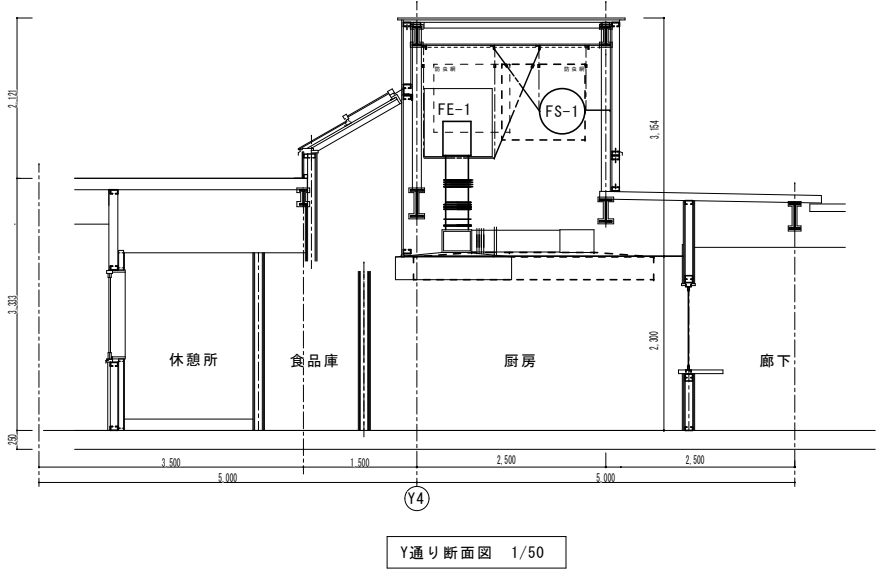
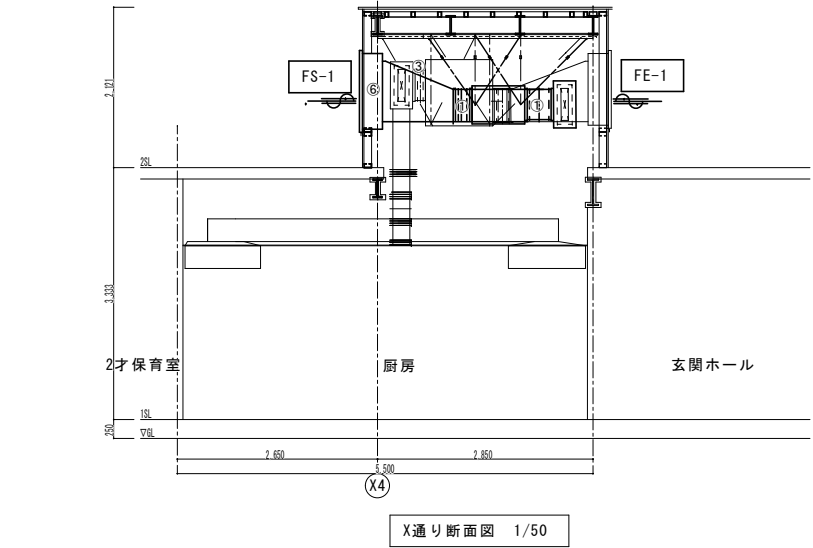
- ↔ : 吊り金具ブレース※両方向（X状）
↗ : 吊り金具ブレース※片方向（斜状）

断面図

ユニットファンはく脱イメージ断面図

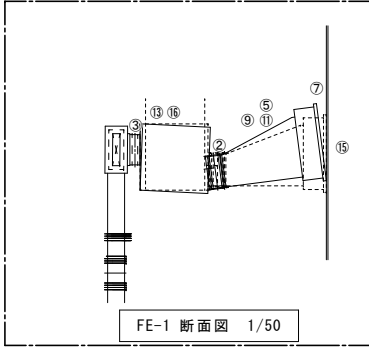
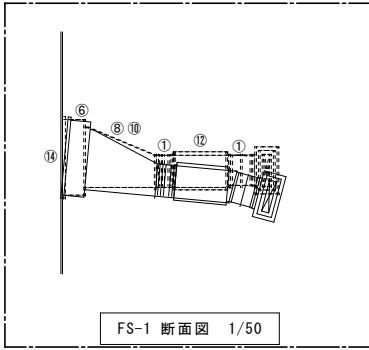
〔凡例〕【新設】

- : 吊り金具ブレース、全ネジボルト φ9
□ : 防振パッパル



〔凡例〕

- : 復旧後姿図
--- : 復旧前姿図



宮城県塩竈市本町1番1号
電話 022-364-1126
FAX 022-362-7249
塩竈市産業建設部まちづくり・建築課

設計年月日

調査

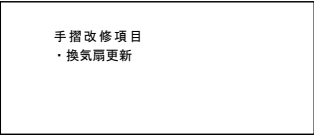
設計

工事名称
令7-依・単 藤倉保育所修繕および電灯設備等改修工事
図面名称
厨房ダクト図

Scale
A1-図示

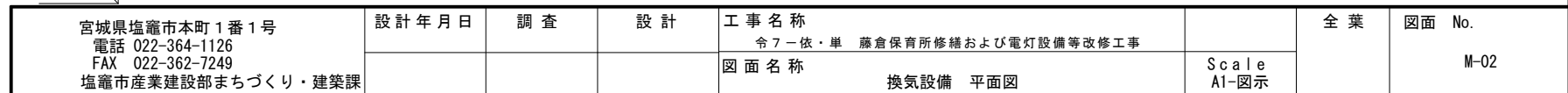
全葉

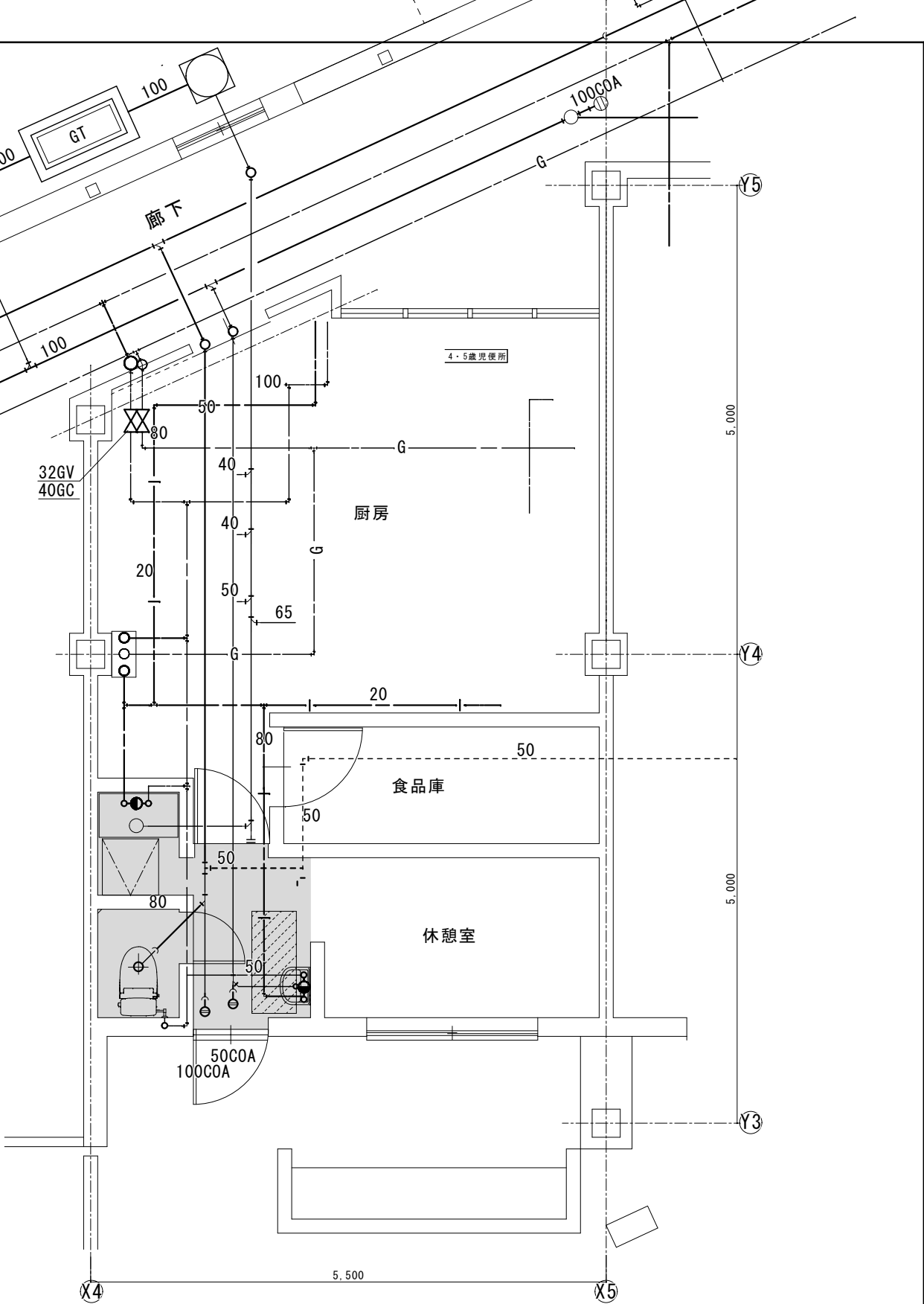
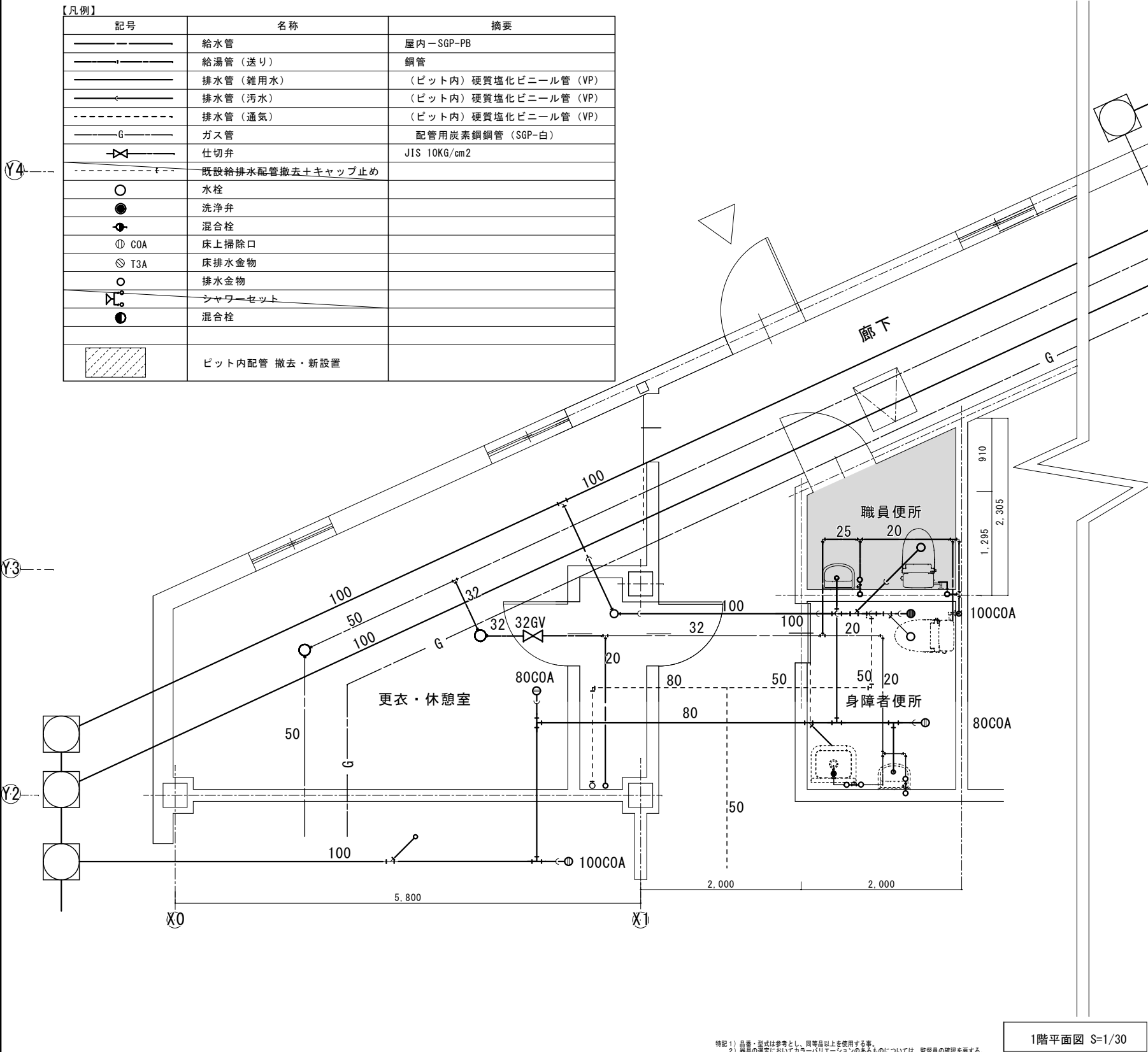
図面 No.
M-01



特記 1) 品番・型式は参考とし、同等品以上を使用する事。
2) 器具の選定においてカラーバリエーションのあるものについては、監督員の確認を要する。
3) 各器具の品番・型式の左右勝手取合いについては、収まり検討を行い監督員の確認を要する。

【凡例】
FE-2
☒ : 換氣扇





衛生器具表（更新） ※洗い場流し台は撤去再設置										更新									
既存							更新												
名 称	仕 様 / 付 属 品 等	数量計	職員用便所	厨房便所	通路	洗い場	名 称	記 号	仕 様 / 付 属 品 等	数量計	職員用便所	厨房便所	通路	洗い場					
備 考							備 考												
洋風大便秘器	防臭式タンク SS70BKS タンク用金具 床フランジ 前丸便座 ワンタッチ紙巻機、付属品一式	2	1	1			洋風大便秘器	CS597BCD-SH596BAYR+TGF5830AUS	床置床排水大便秘器、密結タンク、洗浄便座（便蓋あり、便器洗浄リモコン含む）、紙巻器（棚付二連）、他付属品1式 フランジ交換	2	1	1							
洗面器	VL-520 自立自閉水栓 T105 止水栓 排水金具P	1	1				洗面器	L210C+TEN41AW	台付自動水栓（単水栓）、排水金具、取付金具、他付属品1式	1	1								
洗面器	VL-520 水石入れTS126AR 付属品一式	1					洗面器	L210C+TEN41A	台付自動水栓（単水栓）、排水金具、取付金具、他付属品1式	1									
化粧鏡	JS-U94E-3 足ふみ式水栓 止水栓 排水金具P 2バルブ混合栓 水石入れれTS126R 付属品一式	2	1		1	1	化粧鏡	YM3545A	350×450、固定金具、他付属品1式	2	1		1	1					
紙巻器		2	1	1			紙巻器	YH403FW	2連式	2	1	1							

：1階工事範囲※ビット内で図示以外の工事が伴う場合は
監督員と協議を行うこと。

